画面で見るマニュアル

無線 LAN アクセスポイント
WHG-AC1750AL

【ユーザー登録はこちら】
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしておいてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

© I-O DATA DEVICE, INC.
05c 版

もくじ

安全のために 3

使用上のご注意 5

本製品全般のご注意 5

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意 6

本製品を廃棄される際のご注意 6

基本設定 7

設定場所、設置条件について 7

安全運用のために 12

アクセスポイントを設置する 13

ご利用状況にあわせて、設定をおこなう 15

基本設定をする 16

無線 LAN クライアントを接続する 20

無線 LAN クライアントの接続方法について 20

本製品の設定ファイルを保存またはメール送信して接続する方法 21

QR コードを生成してスマートフォン / タブレットを接続する方法 22

WPS で接続する方法 23

無線情報コピー機能 24

Wi-Fi 設定コピー 24

EasyCopy 機能 25

動作モード 26

動作モードについて 26

動作モードを変更する 26

スケジュール動作 27

スケジュールを作成する 27

スケジュールを削除する 28

ログ情報 29

ログを見る 29

高度な設定 30

バンドステアリングを使用する 30

ローミングを使用する 31

ポート VLAN を使用する 32

ポートセパレーターを使用する 33

MAC アドレスフィルターを利用する 34

省電力機能を有効にする 35

WMM を使用する 36

システム設定 37

時刻を設定する 37

設定を保存 / 復元する 38

初期化する 39

管理者パスワードを変更する 40

ファームウェアの更新 41

自動更新する方法 41

自動で更新を確認し、手動で更新する方法 42

手動で確認および更新する方法 43

仕様 44

各部の名前 44

動作環境 46

仕様 47

出荷時設定 48

ログ一覧 50

設定画面一覧 52

情報 52

無線 LAN 54

本体設定 62

困ったときには 68

設定時のトラブル 69

無線 LAN 接続時のトラブル 73

その他 76

アフターサービス 77

お問い合わせについて 77

修理について 78

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
警告	この表示の注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことがあります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

危険

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因になります。

警告

雷が鳴り出したら本製品や電源コードに触れない
感電の原因になります。

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

本製品を飛行機の中で使用しない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピューターから本製品を取り外してください。

ペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器の近くで使用しない
ペースメーカー等の医療機器や、産業・科学機器の動作に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。また医療機関では無線機器の使用を禁止していることがあります。

本体やセキュリティボックス（WHG-AC1750Aのみ）を壁などに取り付ける際は、可動部に手や指などをはさまないように気を付ける

警告（つづき）

電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、火災・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、火災の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コードの被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

注意

本製品を踏まない
破損し、ケガの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
使用中、使用直後に本体に長時間触れると、やけどの恐れがあります。

高温注意

電源（ACアダプター・コード・プラグ）について

人が通行する場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

本製品全般のご注意

■本製品を使用する上で、以下の注意をご確認ください。

・以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。

〇ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等

〇工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）

〇特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。

携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線 LAN とは異なる電波の周波数帯を使用していますが、本製品を含む無線 LAN 製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等などは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

■本製品の電源を入れ直す場合は、電源を切った後、5 秒以上待ってから電源を入れてください。

■法令により、5GHz 帯の W52（36,40,44,48ch）、W53（52,56,60,64ch）を屋外で使用することは禁止されています。5GHz 帯の W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）は法令により屋外での使用が可能です。本製品を屋外で使用する必要がある場合は、5GHz 帯の W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）または 2.4GHz 帯をご利用ください。

■5GHz帯で使用するチャネルはW52（36,40,44,48ch）とW53（52,56,60,64ch）とW56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）です。J52（34,38,42,46ch）の装置との通信はできません。

■ W53 (52,56,60,64ch) または W56 (100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。

・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。

■ IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11b、IEEE802.11g で通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）
無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁等) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる
　悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
　　ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
　　メールの内容
　等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される
　悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
　　個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
　　特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
　　傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
　　コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
　などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を廃棄される際のご注意

本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

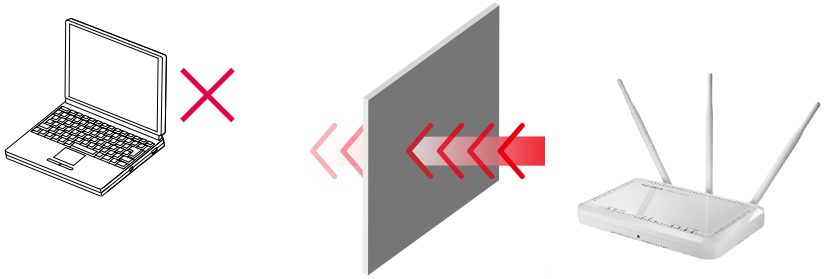
基本設定

設定場所、設置条件について

無線 LAN の安定した運用のため、無線 LAN の運用に際して、下記の条件を満たしているかご確認ください。

✔ 単一フロア内での設置をおこなう

階や部屋をまたいでの通信は、壁や天井、床などの材質の影響により、無線LANの電波が遮断・減衰され安定した運用を妨げる可能性があります。



✔ 以下の機器と近接した場所に設置しない

電波の干渉により正常に通信できなくなる場合があります。やむを得ない場合は、該当する機器の電源を切ってください。

FAX/ステレオ/パソコン/電子レンジ/Bluetooth機器/他の無線LAN機器/POSシステム/盗難防止装置/ゲーム機のコントローラー/デジタルコードレス電話/WiMAX機器/コードレスマウス

✔ 無線 LAN クライアントより高い位置にアクセスポイントを設置する

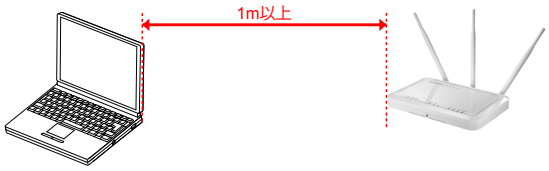
障害物による電波の遮断や減衰を防ぐため、机やラックの上、天井や壁などへの設置をおすすめします。

✔ 近くに複数台の親機を設置して使用する場合は、電波の送信出力設定を下げる

電波の反射により、正常に通信ができなくなる場合があります。

✓ 無線 LAN クライアントはアクセスポイントから 1m 以上離して設置する

距離が近すぎると電波が飽和状態になるため、正常に通信できない可能性があります。

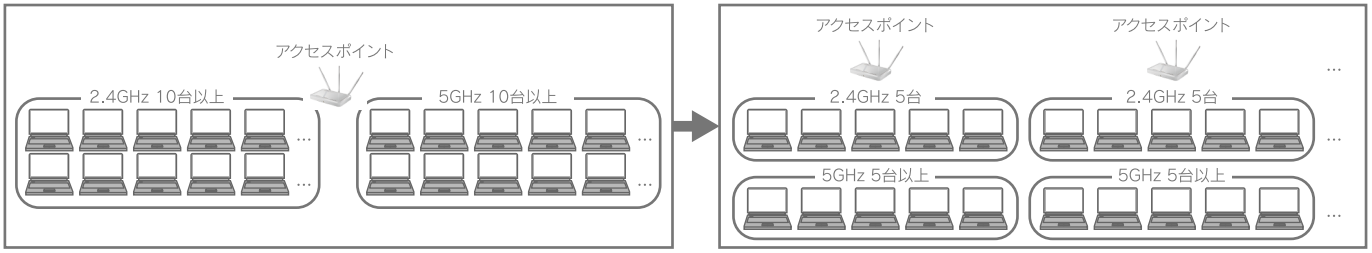


✓ 接続台数を考慮してアクセスポイントの台数と設置位置を設計する

本製品は法人向け無線 LAN アクセスポイントとして最大 50 台（2.4/5GHz 合計）までの同時接続をサポートしますが、同時に通信する台数が増えると無線 LAN の通信速度が低下します。

同時に通信する台数が 2.4GHz、5GHz の各帯域合わせて 25 台を超える場合は負荷を分散するために無線 LAN アクセスポイントの台数を増やすことをご検討ください。

例）



✓ 2.4GHz での通信をおこなう場合は 40MHz モードを使用しない

2.4GHz 帯は様々な機器を使用しているため、20MHz モードに比べて 40MHz は干渉の影響が大きくなります。20MHz での運用をおすすめします。

✓ パソコン内蔵を含む、他社製無線 LAN クライアントとの通信をおこなう場合、以下の設定になっているか確認する

●メーカー独自の機能が無効
（バースティング機能（Atheros Super AG、Broadcom Afterburner、その他バースティング機能）、
通信距離の延長機能（Atheros XR））

● RTC/CTS スレショルド、フラグメントスレショルドが無効
（設定がおこなえる場合、設定可能な最大の数値を設定するか、無効に設定してください。）

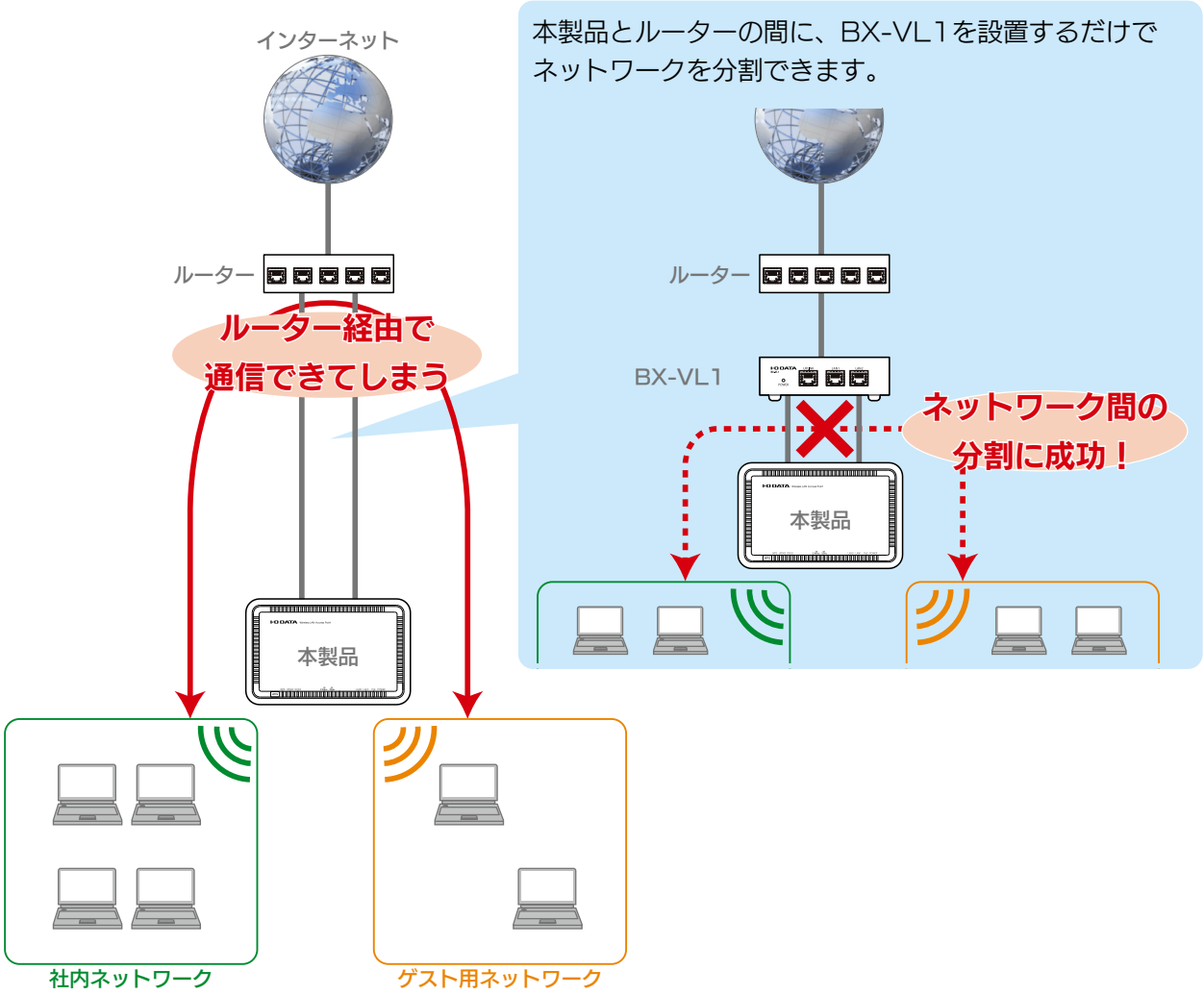
●スリープモードが無効

●メーカー提供のデバイスドライバー、ユーティリティーを使用していること

✓	ゲスト用ネットワークには、セキュリティーを十分に考慮する

本製品の「ゲスト SSID」機能を有効にすると、他のネットワークとの通信を遮断するための設定が付与されます。
※「ゲスト SSID」を有効にした SSID のポートセパレーター［SSID］［STA］が有効になります。また､LAN2 ポートのポート VLAN が有効になります。
しかしながら、LAN1 ポートと LAN2 ポートを同じルーターにつないでしまうと、社内ネットワークとゲスト用ネットワークが、ルーター経由で通信できてしまいます。

この場合、ルーターと本製品の間に VLAN 専用ボックス「BX-VL1」を設置することをおすすめします。
「BX-VL1」を設置すると、ネットワークは分割され、上記問題を解決できます。



✔ 暗号化方法は WPA-PSK(AES) もしくは WPA2-PSK(AES) を使用する

11ac/n 対応製品では WEP、TKIP を使用すると 11a/g のモードとなるため、他の高速な 11ac/n 無線 LAN クライアントの通信速度に影響を及ぼします。またセキュリティの観点からも WEP、TKIP などの暗号化方法はおすすめしません。

✔ IEEE802.11ac/n 対応製品の場合、IEEE802.11a、11b、11g の製品との混在をおこなわない

混在する場合は 11ac/n 対応製品の通信速度に影響をおよぼすため、11ac/n 対応製品のみでの構成をおすすめします。

✔ 無線 LAN クライアントは可能な限り単一メーカー、単一デバイスに統一して使用する

特に内蔵無線 LAN は同一型番のパソコンであっても製造時期により異なるメーカーのモジュールが搭載されている場合があります。無用なトラブルを避けたい、より安定した通信が要求される場合は、同一の無線 LAN クライアントを使用することをおすすめします。

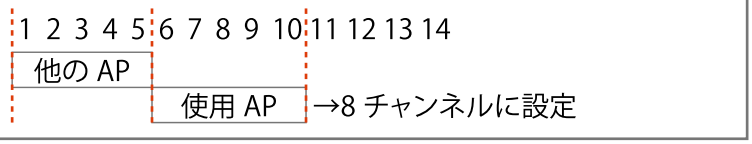
✓ 電波干渉を極力減らすために以下の確認をする

サイトサーベイツールなどで、電波干渉がないチャンネルを検索してください。

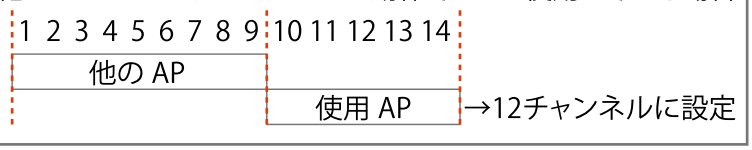
● 2.4GHz で 20MHz モードで動作させる場合

他のアクセスポイントが 40MHz（チャンネルボンディング）の電波を使用している場合、サブチャンネルの干渉も考慮し、他のアクセスポイントのチャンネルから± 5 チャンネルの間で干渉しないようにを設定してください。

例）他のアクセスポイントが20MHz動作で3chを使用している場合



例）他のアクセスポイントが40MHz動作で3chを使用している場合



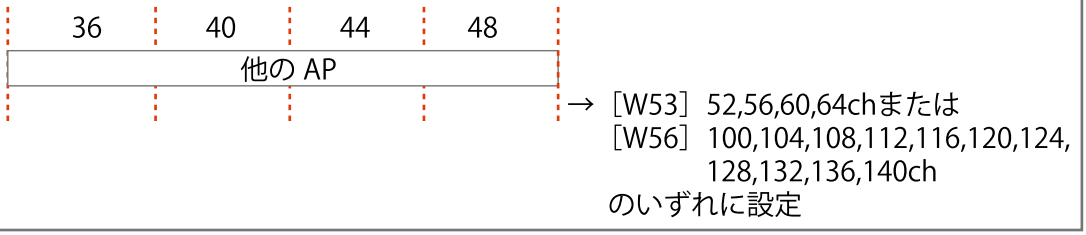
● 5GHz で 20MHz モードで動作させる場合

中心チャンネルが他のアクセスポイントの中心チャンネル、サブチャンネルに重ならないように、設定してください。

例）他のアクセスポイントが20MHz動作で36chを使用して、20MHzで設定する場合

例）他のアクセスポイントが40MHz動作で36（40）chを使用して、20MHzで設定する場合

例）他のアクセスポイントが80MHz動作で36（40,44,48）chを使用して、20MHzで設定する場合



※自動チャンネル機能で設定をおこなう場合でも、電波干渉がないかの確認をおすすめします。

特に 40MHz に対応していないアクセスポイントの自動チャンネル機能では、40MHz の干渉を考慮せずに設定されてしまうため、手動での確認を推奨します。

干渉の確認の際は、電波の強さだけでなく電波が弱くても無線 LAN の使用率が大きいと干渉が大きくなる場合があります。可能な限りチャンネル間での干渉を起こさない設定にしてください。

安全運用のために

セキュリティや動作安定性を向上させるために、常に最新版ファームウェアに更新してご利用ください。

■稼働中に自動更新することができます
稼働中でも最新版のファームウェアがある場合、自動的に更新する機能があります。
初期値は無効ですが、設定画面で有効にできます。ぜひご利用くださいますよう、よろしくお願いします。
なお、ファームウェアの更新中（約２分）は本商品を使用できなくなります。
通常、更新は深夜に実施されますが、スケジュール機能と組み合わせれば、曜日や時間を指定して更新することができます。

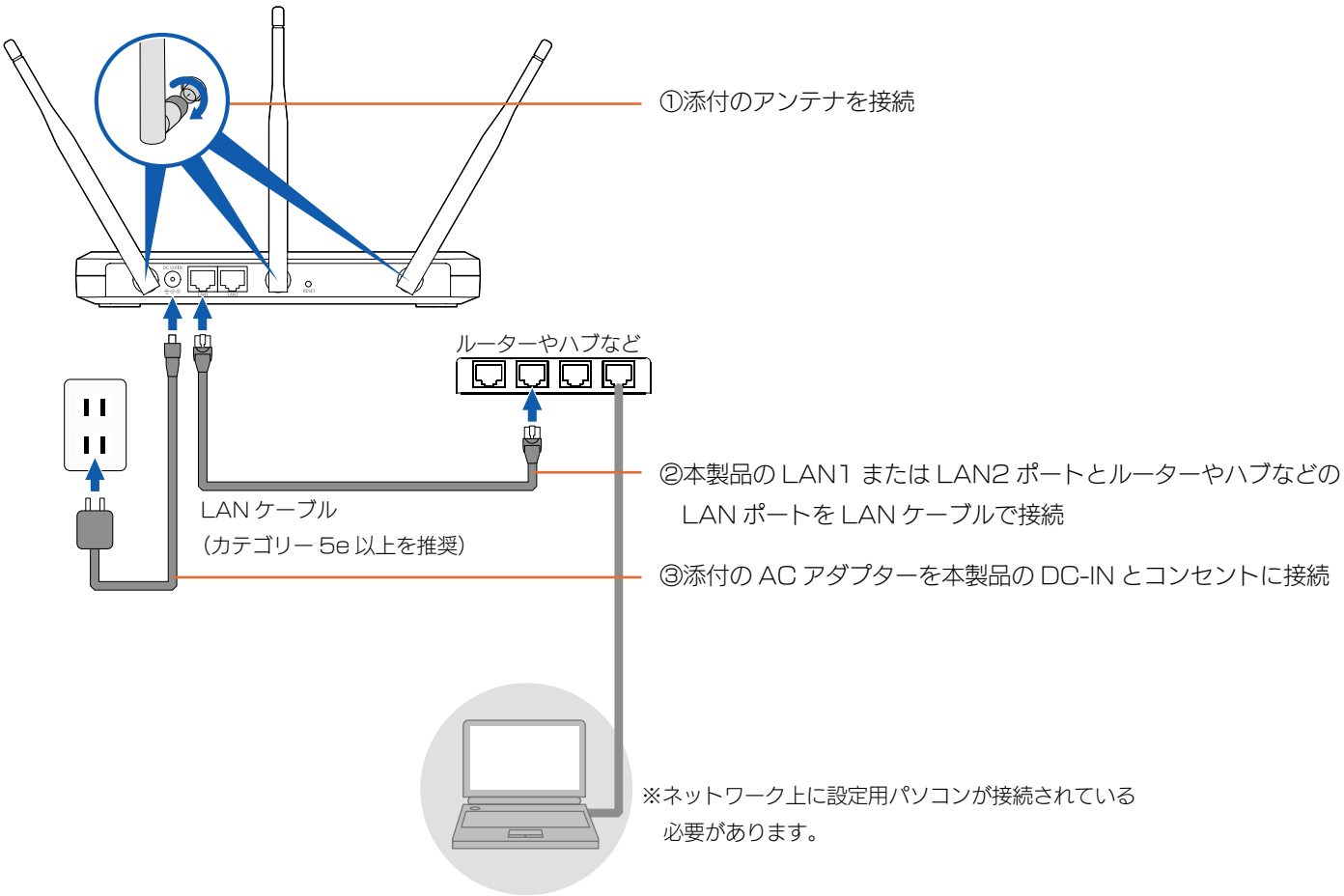
■ユーザー登録いただくと、メールでご案内いたします
ユーザー登録していただくと、最新ファームウェアがリリースされた際、メールにてお知らせいたします。これにより、常に最新のリリース情報を入手できます。
“大事なお知らせ”をご案内するためにも必要ですので、必ずユーザー登録してください。
以下 IOPortal（アイ・オー・ポータル）のトップページから、会員登録と製品登録をおこなってください。
https://ioportal.iodata.jp/

【登録の手順】
①初めて登録する場合は、上記ページにアクセスして、「初めて登録する方」から、会員登録してください。
　送信される案内メール、画面の指示にしたがって登録してください。
②登録した会員情報でログイン後、「お持ちの製品を登録」から製品登録してください。
　シリアル番号（S/N）は製品本体シールに記載されています。

アクセスポイントを設置する

ご注意

●本製品の設定時は、設定用パソコンと本製品を有線 LAN で接続して設定します。
※本製品は、出荷時設定で無線 LAN が無効になっています。



電源を入れると、本製品が自動更新されます

インターネットに接続できる状態で電源が入ると、自動的にファームウェアを最新版へ更新します。（STATUSランプが点滅→消灯）
ファームウェアの更新が終わるまで、お待ちください。（約 2 分）

以上で設置は完了です。
次に【ご利用状況にあわせて、設定をおこなう】（15 ページ）で設定方法を確認してください。

アンテナの向きについて

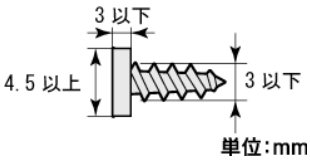
アンテナはなるべく平行にせず、3 本を扇型に広げて設置してください。
また電波はアンテナに対して直角に交わる平面方向に飛びやすいです。

本製品を天井に取り付ける場合

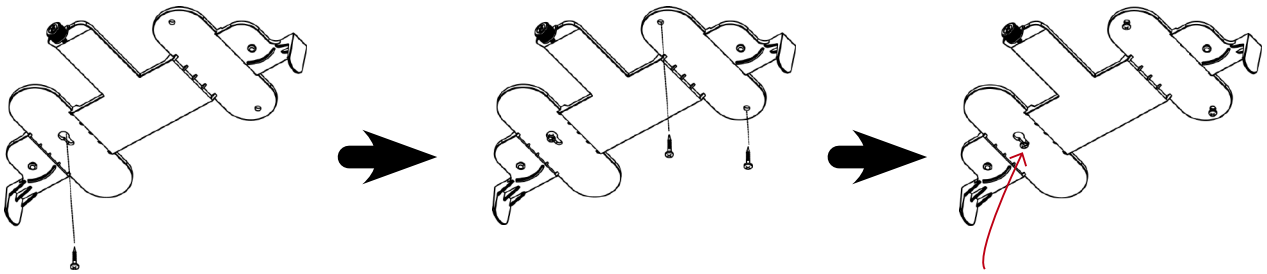
添付の天井キットを使用します。　**本製品の設定完了後に設置することをおすすめします。**

※別売のセキュリティボックス「WHG-OPSB」を利用して設置することもできます。

1	ネジや釘などを利用して、天井に天井キットを固定します。 ※皿ネジは使用しないでください。 　本製品や天井キットを傷つける恐れがあります。

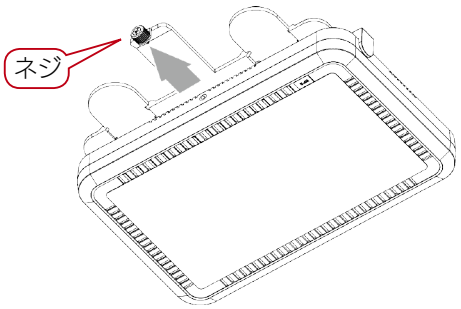


▼皿ネジは使用できません。

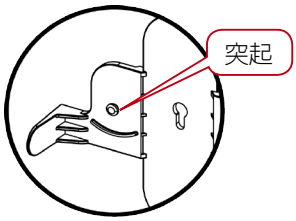


①左側の穴に仮止めします。　②右側の穴２つを固定します。　③左側を完全に固定します。

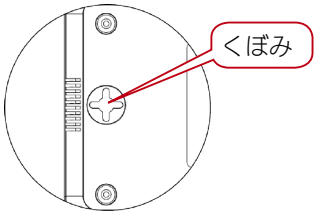
2	本製品を右図のようにスライドして取り付け、天井キットのネジでとめます。 天井キットの左右の突起を本製品底面のくぼみに合わせます。 左右の突起がしっかりはまったことをご確認の上、ネジを固定してください。



▼天井キット



▼本製品底面

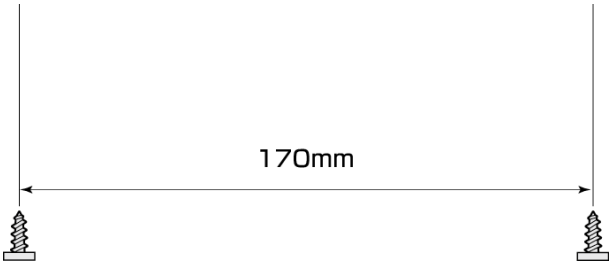


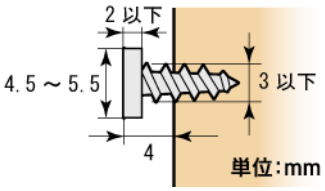
本製品を壁に取り付ける場合

以下の方法で設置します。**本製品の設定完了後に設置することをおすすめします。**

※別売のセキュリティボックス「WHG-OPSB」を利用して設置することもできます。

1	図の幅でネジや釘などを壁に固定します。 ※皿ネジは使用しないでください。本製品を傷つける恐れがあります。

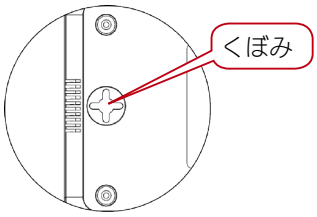


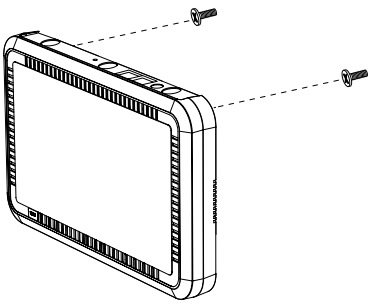


▼皿ネジは使用できません。

2	本製品底面のくぼみを、壁に固定したネジや釘に合わせて取り付けます。

▼本製品底面





ご利用状況にあわせて、設定をおこなう

ご利用状況にあわせて、接続設定をおこなってください。

• 初めてアクセスポイントを導入する場合

①アクセスポイントの基本設定をおこなってください。⇒【基本設定をする】（16 ページ）
②パソコンやスマートフォン等を接続します。⇒【無線 LAN クライアントを接続する】（20 ページ）

• 本製品を複数台導入する場合

① 1 台目のアクセスポイントの基本設定をおこなってください。⇒【基本設定をする】（16 ページ）
② 1 台目の設定を 2 台目以降のアクセスポイントにコピーします。⇒【EasyCopy 機能】（25 ページ）
③パソコンやスマートフォン等を接続します。⇒【無線 LAN クライアントを接続する】（20 ページ）

• 既存のアクセスポイントと本製品を入れ替える場合

Wi-Fi 設定コピー機能を利用すると、既存のアクセスポイントの無線設定情報を本製品にコピーすることができ、無線 LAN クライアント側の設定をし直す必要がありません。
⇒【Wi-Fi 設定コピー】（24 ページ）

基本設定をする

ステップ1　本製品の設定画面を開く

1

設定用パソコンを起動し、以下手順で設定アプリ[Magical Finder] をダウンロードします。
①弊社ホームページにアクセス
http://www.iodata.jp/r/3022
②ご利用の OS をクリックし、ダウンロードをクリック
⇒画面の指示にしたがって、ダウンロードします。

2

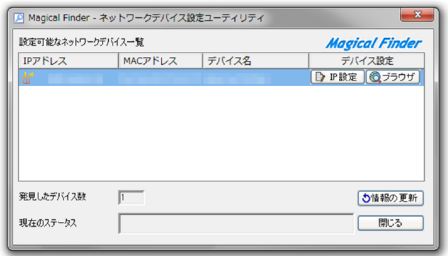
ダウンロードした [mfinderXXX（.exe）] をダブルクリックします。
⇒デスクトップに [mfinderXXX] フォルダーが作成されます。
※ XXX には数字が入ります。

3

作成した [mfinderXXX] フォルダーを開き、[MagicalFinder（.exe）] をダブルクリックします。
※ Mac OS の場合、パスワードの入力画面が表示されます。Mac OS に設定してあるパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

4

自動で本製品が表示されるまで待ちます。（約 1 分）



ご注意

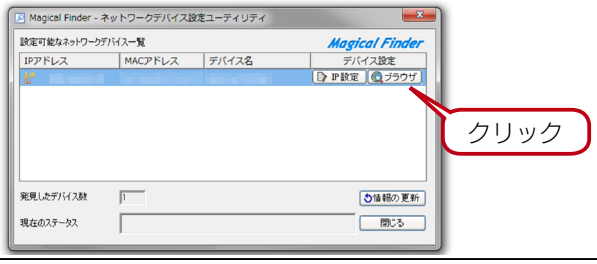
●本製品が見つからない場合は、下記をお試しください。
・30 秒ほど待ってから、[情報の更新] ボタンをクリックしてください。
・セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティ機能を解除してご確認ください。詳しくはセキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
●他のパソコンで確認できる場合は、設定用パソコンを変更してお試しください。
●「Windows セキュリティの重要な警告」画面が表示された場合は、[ブロックを解除する] または [アクセスを許可する] をクリックします。

5

環境にあわせて設定します。

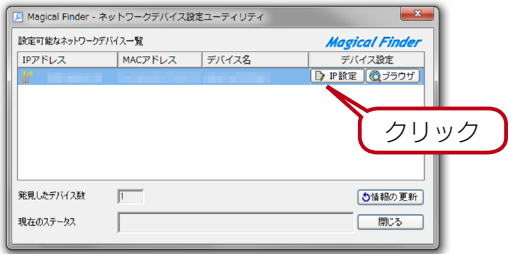
ネットワーク上に DHCP サーバー（ルーター等）がある場合（IP アドレスに 169.254.XXX.XXX 以外が表示されている場合）　※ XXXは任意の数字

設定する本製品の［ブラウザ］をクリックし、【ステップ2　アクセスポイントを設定する】（17 ページ）へお進みください。



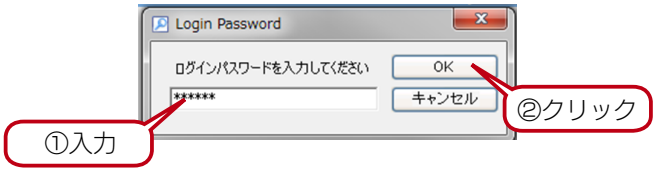
本製品に固定の IP アドレスを設定する場合（IP アドレスに 169.254.XXX.XXX が表示されている場合）　※ XXXは任意の数字

設定する本製品の[IP 設定]をクリックし、手順 5 へお進みください。

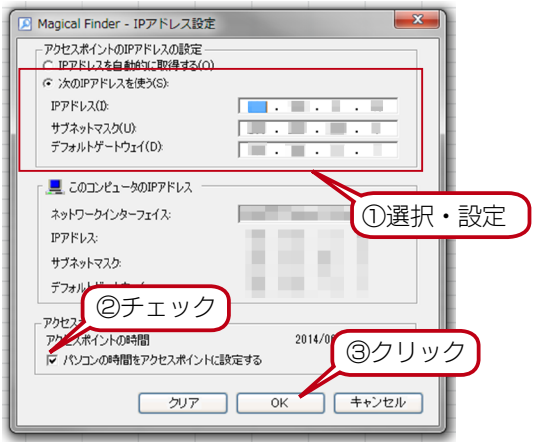


6

「IODATA」（大文字、半角英字）と入力して、[OK] ボタンをクリックします。



7	本製品の IP アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

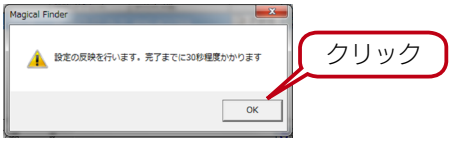


IP アドレス	本製品に割り当てる IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	導入するネットワークに合わせたサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	導入するネットワークのゲートウェイサーバーのアドレスを設定 します。（ルーターなどの IP アドレスを入力します）

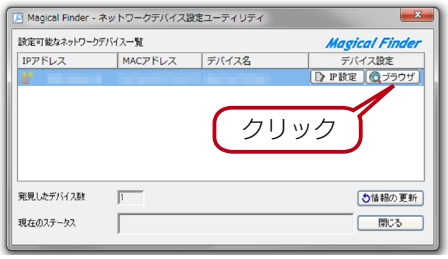
ご注意

●本製品の IP アドレスは、設定用パソコンの IP アドレスと同じネットワークアドレス上に設定してください。

8	［OK］ボタンをクリックします。



9	アクセスポイントのリストに戻りますので、設定するアクセスポイントの［ブラウザ］ボタンをクリックします。 Web ブラウザーが起動します。 ⇒右記【ステップ2　アクセスポイントを設定する】へお進みください。



ご注意

● Web ブラウザーが起動しない場合は、IP アドレスなどの設定が正しくない可能性があります。設定をやり直してください。

ステップ2　アクセスポイントを設定する

1	ユーザー名に「admin」（小文字、半角英字）、パスワードに「IODATA」（大文字、半角英字）を入力し、［ログイン］ボタンをクリックします。

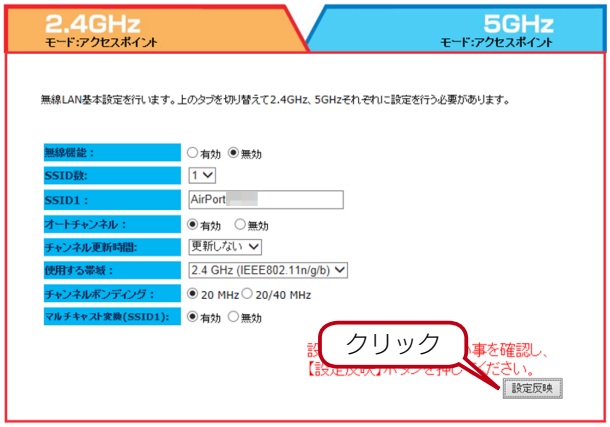
2	設定画面が開きますので、［無線 LAN］をクリックします。動作モードを設定します。 アクセスポイントとして使用する場合は、特に設定変更の必要はありません。

モードを切り替えて使用する場合は、【動作モード】（26 ページ）以降をご覧ください。

3	［基本設定］をクリックします。

4	2.4GHz の無線 LAN 設定をおこないます。 ※以下の手順では 2.4GHz から順に設定をおこないます。 　2.4GHz を使用しない場合は手順6へお進みください。 ①［無線機能］を［有効］に設定します。 ②[SSID 数]を選択し、それぞれの[SSID]を入力します。 ※ 32 文字までの半角英数字で入力します。 ※大文字 / 小文字の区別あり。 ※ [SSID] は、無線 LAN アダプターの設定時に必要になりますので、メモしてください。 ※必要に応じてその他も設定してください。詳しくは、【●基本設定】（54 ページ）をご覧ください。 ③入力ができたら、［設定］ボタンをクリックします。

5 確認画面が表示されますので、設定項目に間違いのないことを確認し、[設定反映] ボタンをクリックします。



6 5GHz の無線 LAN 設定をおこないます。

※ 5GHz を使用しない場合は手順8へお進みください。

※「無線 LAN バンドステアリング」機能を有効にしている場合、5GHz 帯の SSID1 は 2.4GHz 帯の SSID1 と同じ設定になり、5GHz 帯の SSID1 の設定はおこなえません。(「無線 LAN バンドステアリング」を無効にする場合は【●その他の設定】(65 ページ) で設定します。)

① [5GHz] タブをクリックします。

② [無線機能] を [有効] に設定します。

③[SSID 数] を選択し、それぞれの [SSID] を入力します。

※ 32 文字までの半角英数字で入力します。

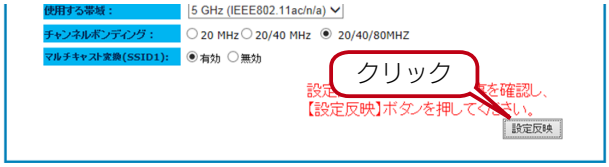
※大文字 / 小文字の区別あり。

※ [SSID] は、無線 LAN アダプターの設定時に必要になりますので、メモしてください。

※必要に応じてその他も設定してください。詳しくは、【●基本設定】(54 ページ) をご覧ください。

④入力ができたら、[設定] ボタンをクリックします。

7 確認画面が表示されますので、設定項目に間違いのないことを確認し、[設定反映] ボタンをクリックします。



8 暗号化の設定をおこないます。

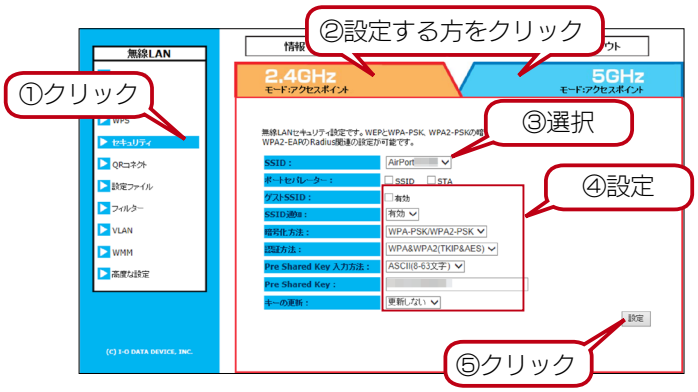
① [セキュリティ] をクリックします。

②セキュリティ設定をおこなうほうのタブ ([2.4GHz] または [5GHz]) をクリックし、設定します。

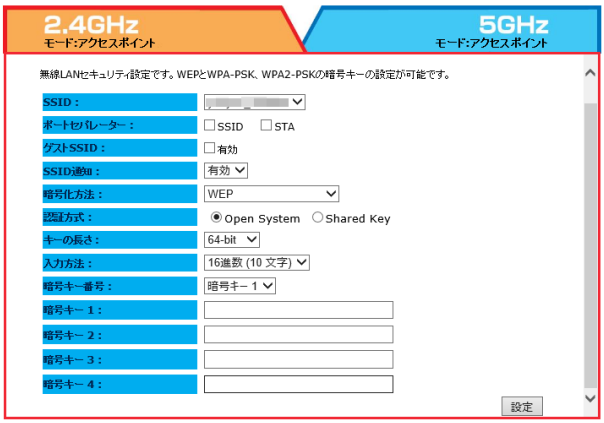
③設定をおこなう [SSID] を選択します。

④暗号化方法を選択し、設定します。設定内容については、【●セキュリティ】(56 ページ) をご覧ください。

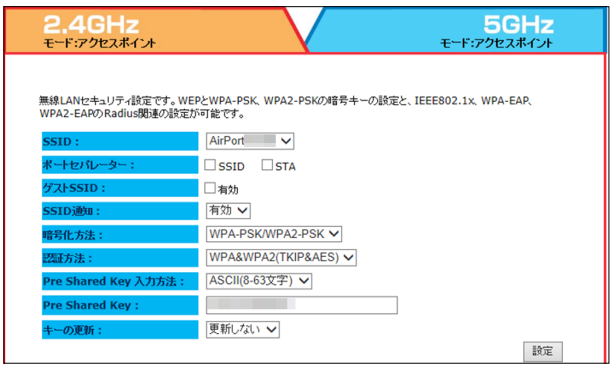
⑤ [設定] ボタンをクリックします。



▼ WEP を使用する場合



▼ WPA-PSK/WPA2-PSK を使用する場合



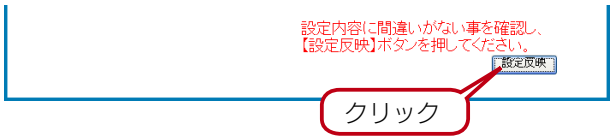
※クライアント側も WPA-PSK、WPA2-PSK に対応している必要があります。

「SSID 通知」を [無効] にした場合

無線 LAN クライアントの接続設定にご注意ください。

【無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる】(75 ページ) 参照

9	[設定反映] ボタンをクリックします。 ※それぞれについて、[設定] → [設定反映] をクリックして設定内容を確定する必要があります。



以上で、本製品のアクセスポイントとして利用する場合の基本的な設定は完了です。

この後、無線接続するパソコンやスマートフォン側の設定をおこなってください。

⇒【無線 LAN クライアントを接続する】（20 ページ）

無線LANクライアントを接続する

無線 LAN クライアントの接続方法について

ご利用環境にあわせて、最適な方法で無線 LAN クライアントを接続してください。

• 本製品の設定ファイルを保存またはメール送信して接続する方法

⇒【本製品の設定ファイルを保存またはメール送信して接続する方法】（21 ページ）

本製品の設定画面から設定ファイルをパソコンに保存（またはメール送信）し、設定ファイルを実行するだけで無線 LAN クライアントの接続が完了します。

【こんな環境に最適】…無線 LAN クライアントの数が多い場合

•QR コードを生成してスマートフォン / タブレットを接続する方法

⇒【QR コードを生成してスマートフォン / タブレットを接続する方法】（22 ページ）

本製品の設定画面で無線 LAN 設定情報の QR コードを生成し、かんたん接続アプリ「QR コネクト」で読み取り、接続します。

【こんな環境に最適】…スマートフォン / タブレット初心者、またはスマートフォン / タブレットの数が多い場合

•WPS で接続する方法

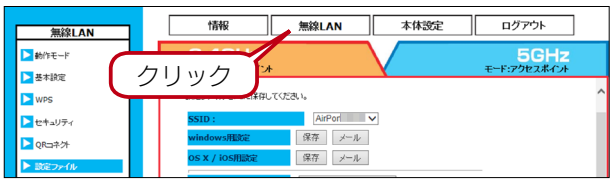
⇒【WPS で接続する方法】（23 ページ）

無線 LAN クライアントが WPS に対応している場合にご利用いただけます。本製品の WPS ボタンを長押しするか、本製品の設定画面から WPS 接続します。

【こんな環境に最適】…無線 LAN クライアントが WPS に対応している場合

本製品の設定ファイルを保存またはメール送信して接続する方法

1	設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。

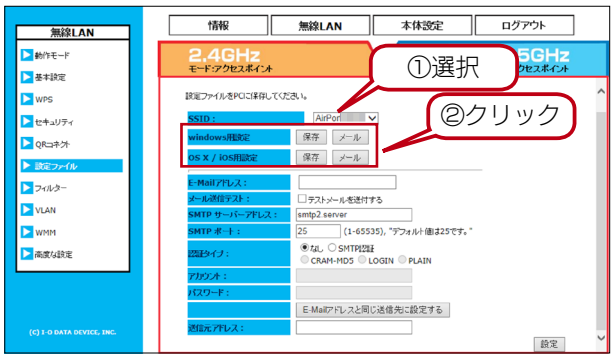


2	[設定ファイル] をクリックし、設定ファイルを保存する方の周波数帯のタブをクリックします。

3	設定ファイルをメールで送信する場合は、E-Mail アドレスなどの設定をおこない、[設定] をクリックします。(メールをしない場合は、手順 4 へお進みください。)

E-Mail アドレス	設定ファイルの送信先メールアドレスを入力します。
メール送信テスト	テストメールを送信します。
SMTP サーバーアドレス	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。
SMTP ポート	メール送信に利用する TCP ポート番号を指定します。(初期値：25) ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で 25 番ポートでのメール送信を遮断している場合は、適切な番号に変更してください。
認証タイプ	認証タイプを選択します。
アカウント	SMTP 認証に用いるアカウントを入力します。
パスワード	SMTP 認証に用いるパスワードを入力します。
送信元アドレス	送信元メールアドレスを入力します。送信先と同じ場合は、[E-Mail アドレスと同じ送信先に設定する] をクリックします。

4	① SSID を選択します。 ② Windows パソコンを接続する場合は、[windows 用設定] の [保存] または [メール] をクリックします。Mac OS または iOS 端末を接続する場合は、[OS X/iOS 用設定] の [保存] または [メール] をクリックします。



5	パソコンに保存またはメールした設定ファイルを、本製品に接続したいパソコンやスマートフォン上で実行してください。

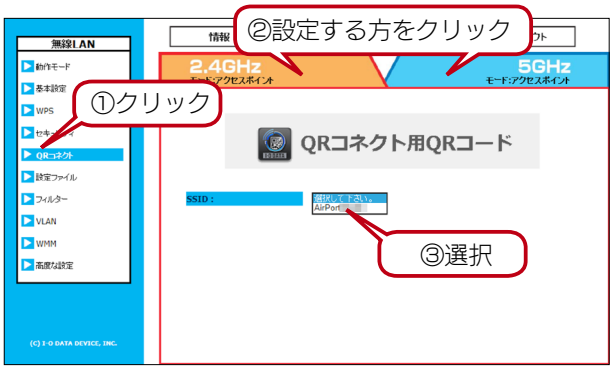
これで接続は完了です。

QR コードを生成してスマートフォン / タブレットを接続する方法

「QR コネクト」メニューから生成した無線 LAN 設定情報の QR コードを、かんたん設定アプリ「QR コネクト」で読み込むと、簡単にスマートフォンやタブレットを接続することができます。

1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。

2 [QR コネクト] をクリックし、QR コードを生成する方の周波数帯のタブをクリックし、SSID を選択します。



3 QR コードが表示されます。
必要に応じて、[印刷] をクリックするか、QR コードの画像を右クリックし保存するなどしてください。

4 ご利用のスマートフォン等で App Store または Play ストアから「QR コネクト」を検索し、インストールし、開きます。

5 [読み取り開始] をタップします。

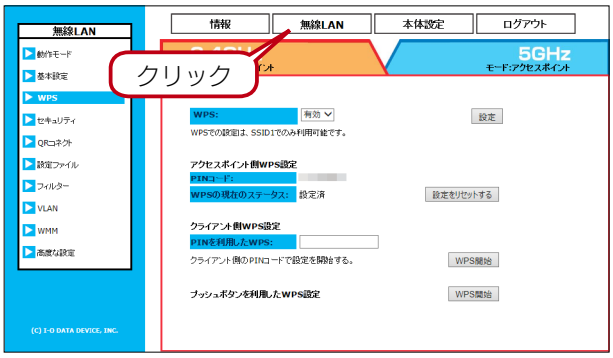
6 手順 3 で生成した QR コードに、スマートフォン等をかざして読み取ります。
⇒画面の指示にしたがってインストールします。

これで接続は完了です。

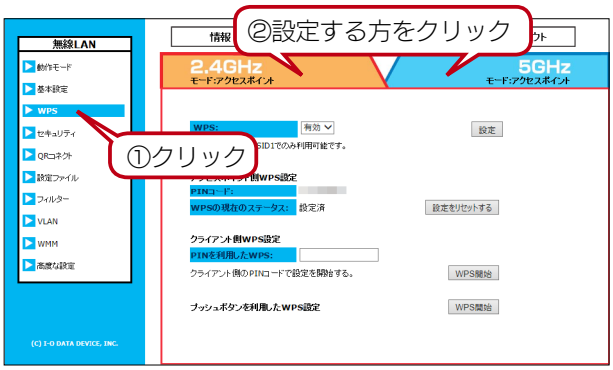
WPS で接続する方法

※ WPS：Wi-Fi PROTECTED SETUP

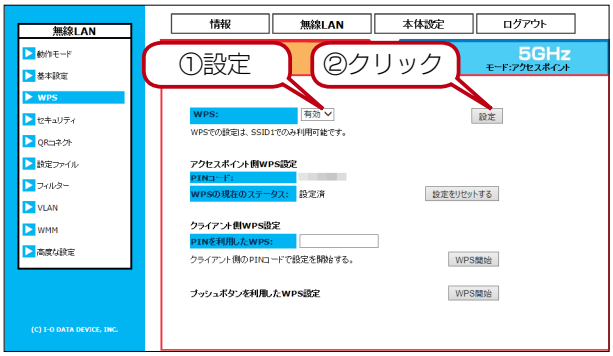
1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。



2 [WPS] をクリックし、WPS（Wi-Fi PROTECTED SETUP）を使用する周波数帯のタブをクリックします。

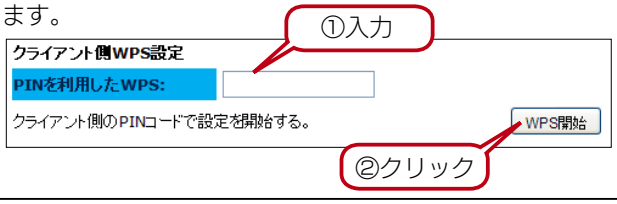


3 WPS を「有効」にし、[設定] ボタンをクリックします。



クライアント側の PIN コードで設定を開始する場合

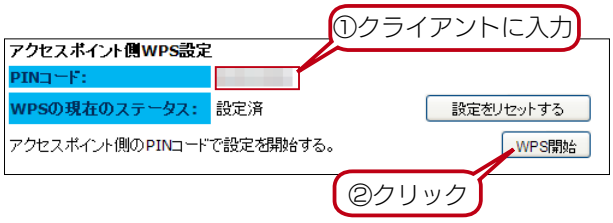
無線 LAN クライアント（無線 LAN アダプター）側で発行した PIN コードを入力し、[WPS 開始] ボタンをクリックします。



アクセスポイント側の PIN コードで設定を開始する場合

本製品側の PIN コードを無線 LAN クライアント側に設定した後、[WPS 開始] ボタンをクリックします。

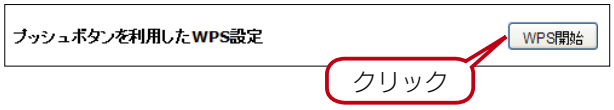
※無線 LAN クライアント側の設定についてはお使いのパソコンや無線 LAN アダプターなどの取扱説明書を参照ください。



プッシュボタンを利用した WPS 設定

無線 LAN クライアント側もプッシュボタンでの WPS 設定に対応している場合、本体の WPS ボタンを押すと、WPS 設定をおこなえます。（【各部の名前】（44 ページ）参照）

本製品を天井や高所などに設置していて、物理的にボタンを押すことが難しい場合、設定画面上から、[WPS 開始] ボタンを押と、プッシュボタンを利用した WPS 設定を設定画面上から実行できます。



無線情報コピー機能

Wi-Fi 設定コピー

アクセスポイントの買い替えなら、「Wi-Fi 設定コピー機能」を使うとスマートフォンやパソコンの再設定が不要です。

ご注意

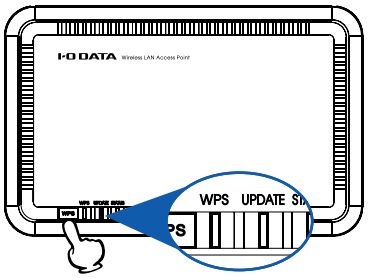
- WPS 機能を使います。既存のアクセスポイントに WPS 機能が搭載されている必要があります。
- コピーできる内容：既存のアクセスポイントの 1 番目の SSID に関する無線設定情報（SSID、暗号化方法、認証方法、暗号キー）
- コピー場所：本製品の［Copy SSID］にコピーします。

※WPS 機能を使うため、無線設定情報は 2.4GHz 帯／ 5GHz 帯のどちらかをコピーします。
　両方の無線設定情報をコピーしたい場合は、２度操作をおこなってください。
※既存のアクセスポイントの暗号化方式が「暗号化なし」「WEP」「WPA-EAP/WPA2-EAP」「WPA/WPA2-TKIP」の場合はコピーできません。
※既存のアクセスポイントの SSID 通知が無効の場合は、コピーできません。

1　既存のアクセスポイントの電源を入れ、WPS ボタンをランプが点滅するまで長押しします。
※既存のアクセスポイントの操作については、既存のアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

既存のアクセスポイント
（コピー元）

2
- 2.4GHz 帯の無線設定情報をコピーする場合
  本製品の WPS ランプが橙点滅→青点滅→橙点滅に変わり、同時に UPDATE ランプが点灯するまで WPS ボタンを長押しします。（約 15 秒間）
- 5GHz 帯の無線設定情報をコピーする場合
  本製品の WPS ランプが橙点滅→青点滅→橙点滅→青点滅に変わり、同時に UPDATE ランプが点灯するまで WPS ボタンを長押しします。（約 20 秒間）



3　WPS ランプおよび UPDATE ランプが点灯したら、無線設定情報のコピーは完了です。
※ WPS ランプおよび UPDATE ランプは約 5 分間点灯後、消灯します。

これでコピーは完了です。

WPS および UPDATE ランプが速い点滅にかわった場合

WPS ランプおよび UPDATE ランプが遅い点滅から速い点滅にかわった場合は、コピーに失敗しています。本手順を最初からやり直してください。
それでもコピーできない場合は、手動で無線 LAN の接続設定をおこなってください。（詳しくはパソコンやスマートフォン等のマニュアルをご参照ください。）

EasyCopy 機能

本製品同士を有線 LAN 接続し、設定情報をコピーする事ができます。

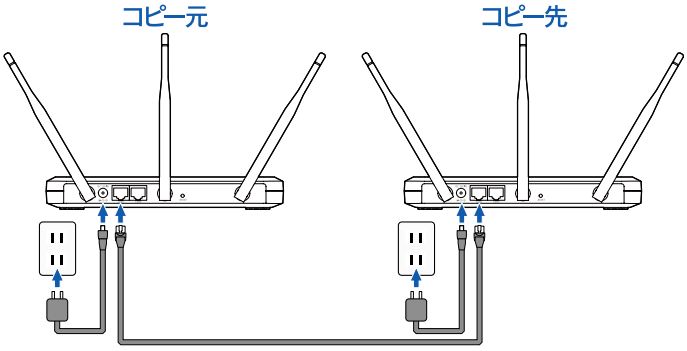
ご注意

●コピー先のアクセスポイントは新品または初期化した状態にしてください。（初期状態のアクセスポイントをコピー先と自動判別します。）
（【初期化する】39 ページ参照）

EasyCopy 機能では以下の情報をコピーします

設定画面			備考
大項目	中項目	小項目	
無線LAN	動作モード	2.4GHz(n/g/b)	
		5GHz(ac/n/a)	
	基本設定 (2.4GHz/5GHz)	無線機能	
		各SSID	
		Copy SSID	
		オートチャンネル	
		チャンネル	
		チャンネルボンディング	
	セキュリティ (2.4GHz/5GHz) (SSID毎)	ポートセパレーター	
		SSID通知	
		暗号化方法	
		認証方法	
		Pre Shared Key	
	フィルター (2.4GHz/5GHz)	無線LAN MACアドレス フィルター機能を有効にする	
		MACアドレス登録内容	
	VLAN (2.4GHz/5GHz)	VLAN	
		SSID 1～2	ポート
	WMM (2.4GHz/5GHz)	WMM	
本体設定	有線LAN設定	IPアドレスの設定方法	[固定IPアドレス]の場合、「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」もコピーします。 「IPアドレス」は、「コピー元のIPアドレス」と「コピー先のMACアドレス」を元に生成します。
		DNSタイプ	[スタティック]の場合、「プライマリDNSサーバー」「セカンダリDNSサーバー」もコピーします。
	その他の設定	無線LANバンドステアリング	

1 コピー元のアクセスポイントの LAN1 ポートと、コピー先のアクセスポイントの LAN1 ポートを LAN ケーブルで接続し、両方のアクセスポイントの電源を入れます。



2 STATUS ランプが点滅します。
⇒ STATUS ランプが消灯したら、コピーは完了です。

3 アクセスポイントの電源を切り、LAN ケーブルを外してください。

これでコピーは完了です。

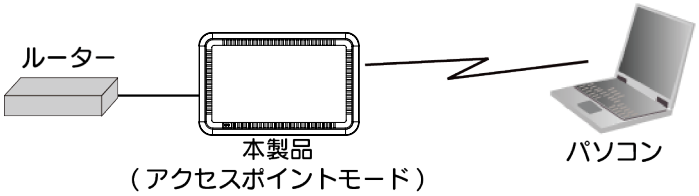
動作モード

動作モードについて

動作モードを周波数帯ごとに「アクセスポイント」、「無効」から選択できます。

アクセスポイント

通常のアクセスポイントとして使用します。
接続できるのは無線クライアントのみとなります。

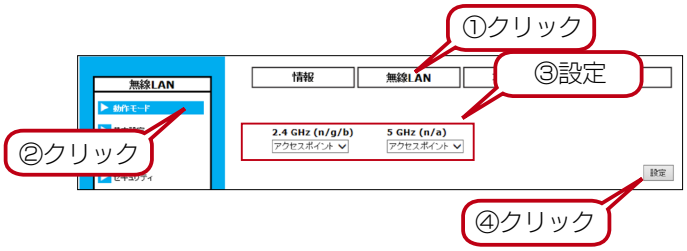


ご注意

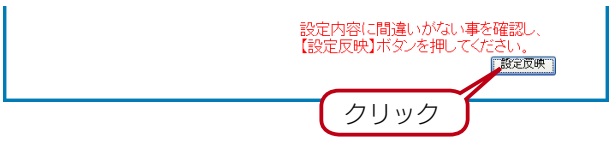
●各モードの通信できる無線機器については、【通信できる無線機器】（46 ページ）をご覧ください。

動作モードを変更する

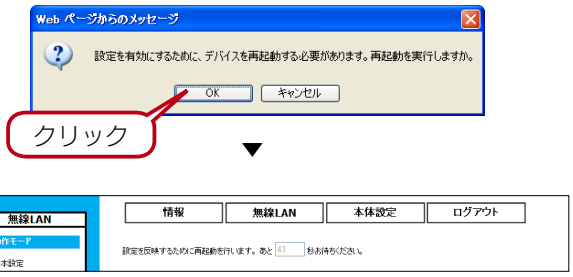
1 ①設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。
②[動作モード] をクリックします。
③変更する周波数帯、使用する動作モードを選択します。
④[設定] ボタンをクリックします。



2 設定内容を確認し、[設定反映] ボタンをクリックします。



3 「再起動を実行しますか」表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



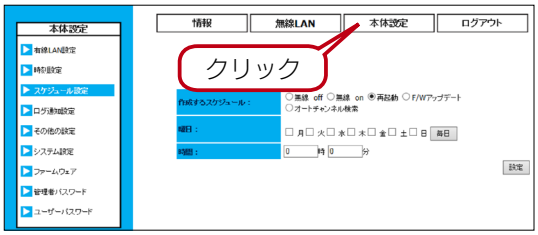
再起動すると、設定完了です。この後、動作モードの詳細設定をおこないます。設定画面に再度ログインしてください。

スケジュール動作

無線の on/off、再起動、ファームウェアの自動アップデート、オートチャンネル検索をスケジュールで実行することができます。

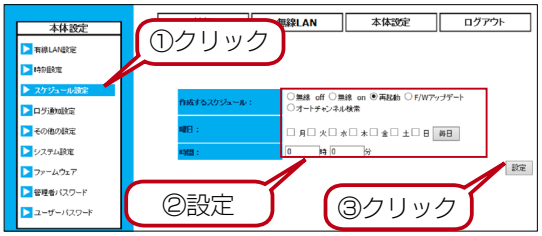
スケジュールを作成する

1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。

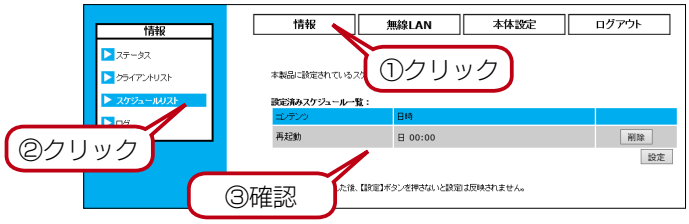


2 [スケジュール設定] をクリックし、作成するスケジュール、曜日、時間を入力し、[設定] ボタンをクリックします。

※作成したスケジュールの前後 2 分間に他のスケジュールを設定することはできません。



3 [情報] をクリックし、[スケジュールリスト] をクリックして、作成したスケジュールが表示されていることを確認します。



ご注意

●ファームウェアの自動更新中や再起動中は本製品の使用ができません。（約 2 分間）
夜間や休日に設定することをおすすめします。

ご注意

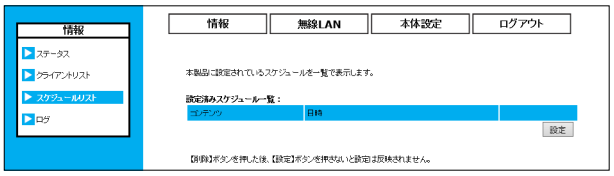
●本スケジュール設定と、「無線 LAN 一括設定ツール」のスケジュールは連動していません。最後に設定した方のスケジュールにしたがって動作します。
（「無線 LAN 一括設定ツール」は以下からダウンロードできます。http://www.iodata.jp/r/4785）

スケジュールを削除する

1	設定画面を開き、[情報] をクリックします。

2	[スケジュールリスト] をクリックし、削除したい項目の [削除] ボタンをクリックし、[設定] ボタンをクリックします。 ※ [削除] ボタンを押した後、[設定] ボタンを押さないと設定は反映されません。

3	スケジュールが削除されたことを確認します。



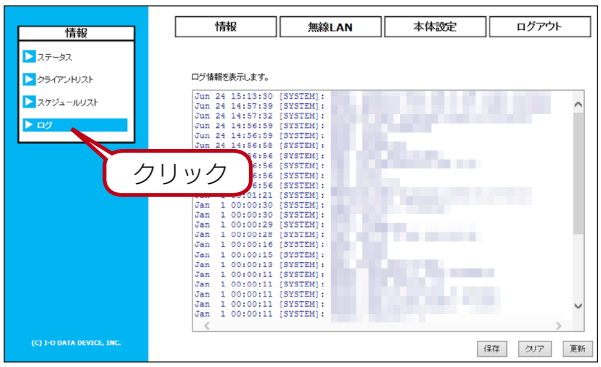
ログ情報

本製品のシステムログについて、ログ情報の閲覧、保存の機能があります。

ログを見る

1	設定画面を開き、[情報] をクリックします。

2	[ログ] をクリックします。 →ログが表示されます。



[保存] ボタン	ログ表示内容をテキストファイルで管理者のパソコンに保存します。
[クリア] ボタン	ログ表示内容を削除します。
[更新] ボタン	ログ表示内容を最新の情報に更新します。

ログについては、【ログ一覧】（50 ページ）をご覧ください。

高度な設定

バンドステアリングを使用する

無線 LAN バンドステアリングとは

［有効］（出荷時設定）にすると、デュアルバンド（2.4GHz 帯 /5GHz 帯）対応の無線 LAN クライアントには、自動的に 5GHz 帯への接続を誘導します。

※ [有効] にした場合、5GHz 帯の SSID1 が 2.4GHz 帯の SSID1 と同じ値になり、5GHz 帯の SSID1 は設定がおこなえません。

バンドステアリングは出荷時設定で有効になっています。

無効にする場合は、設定画面の［本体設定］→［その他の設定］からおこないます。（【●その他の設定】65 ページ参照）

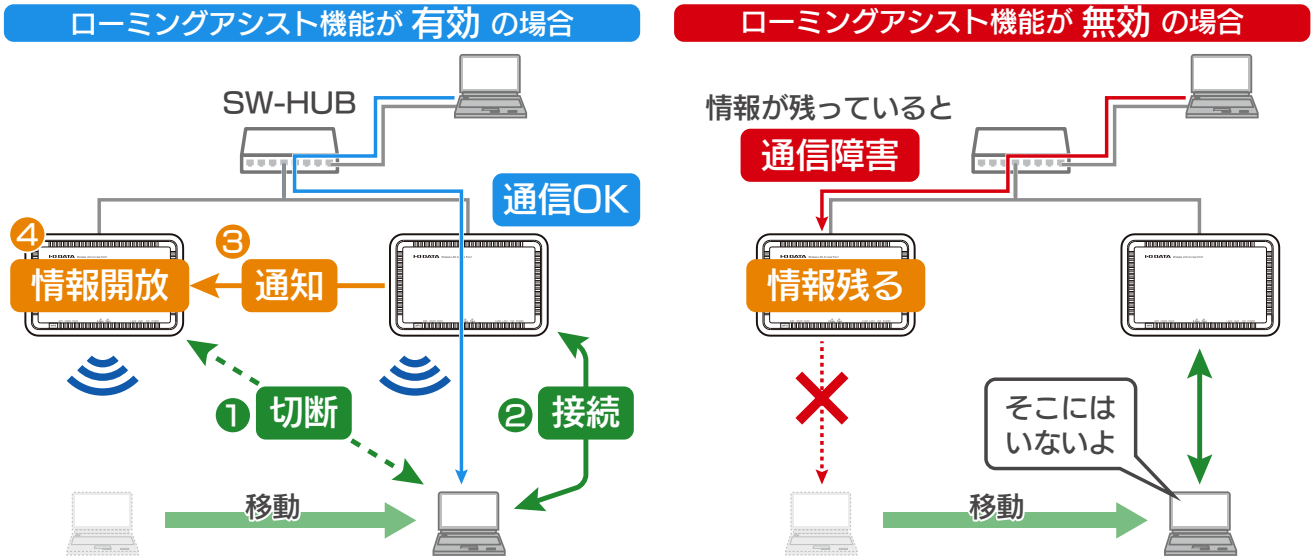
ローミングを使用する

最適ローミング（IEEE802.11k）とは

IEEE802.11k 対応の無線 LAN クライアントの場合、IEEE802.11k 対応の無線 LAN アクセスポイントから提供される無線 LAN の情報を利用して、接続先の空き状況を確認し最適な無線 LAN アクセスポイントへローミングする機能です。
※本機能を使用する場合、無線 LAN クライアントも IEEE802.11k の対応が必要です。
（動作確認済み機器：iPad2, iPad mini, iPhone 5s）
※出荷時設定：有効

無線 LAN ローミングアシストとは

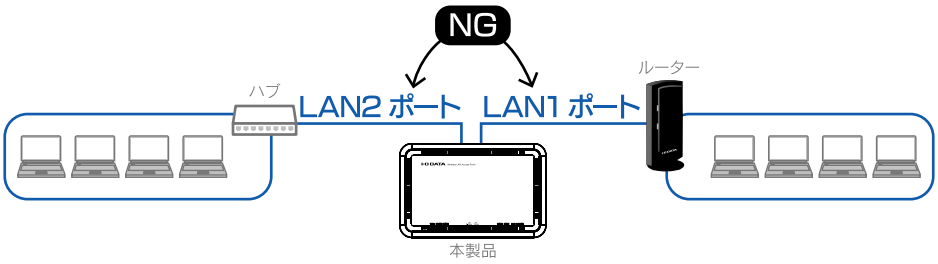
無線 LAN クライアントと通信していた他の端末が、無線 LAN クライアントの移動後も正しく通信できるように処理します。
元々つながっていたアクセスポイントから無線 LAN クライアントの情報を開放し、通信先ミスによる通信障害を抑制できます。
※接続先のアクセスポイントが全て本機能に対応している必要があります。
対応機器：WHG-AC1750A、WHG-AC1750AL、WHG-NAPG/A
※接続先のアクセスポイントが同一ネットワーク上にある必要があります。
※出荷時設定：有効



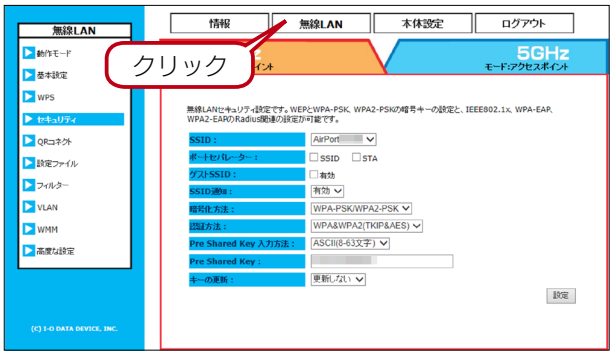
ローミングの設定を変更する場合は、設定画面の［本体設定］→［その他の設定］からおこないます。
（【●その他の設定】65 ページ参照）

ポート VLAN を使用する

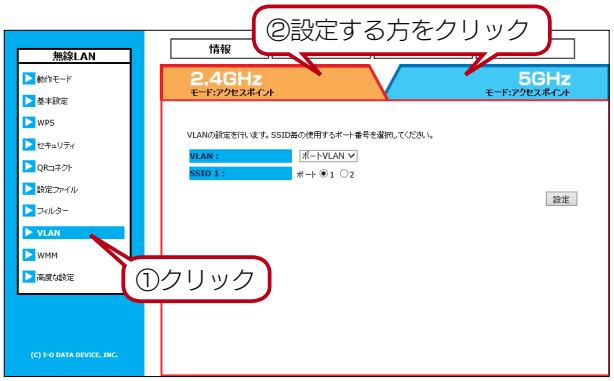
LAN ポート単位で、ネットワークを2つに分割することができます。
本製品の LAN1 ポートと LAN2 ポート間での通信を禁止します。
SSID をどちらかの LAN ポートに割り振ることができます。



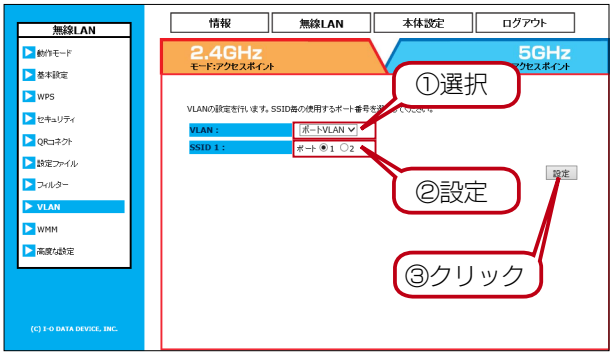
1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。



2 [VLAN] をクリックし、設定を変更する周波数帯のタブをクリックします。



3 「VLAN」を［ポート VLAN］にし、各 SSID がどちらの LAN ポートに属するか設定します。
設定が終わったら、［設定］ボタンをクリックします。

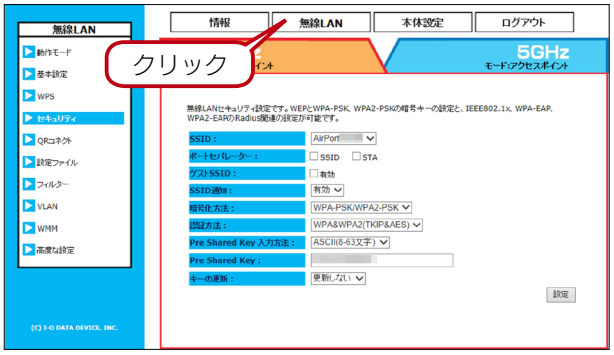


これで設定は完了です。

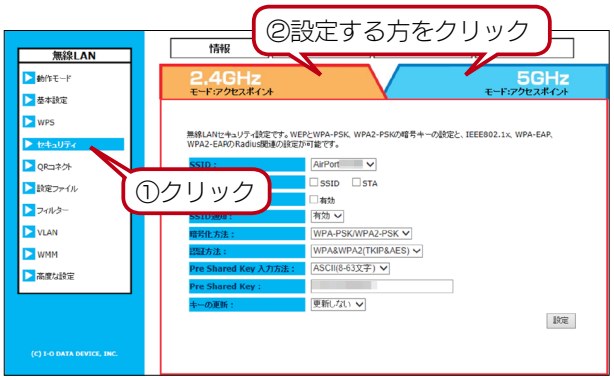
ポートセパレーターを使用する

無線 LAN クライアント同士の通信を制限する機能を有効にします。
特にホットスポットなど、不特定ユーザーに無線を公開する場合に使用します。

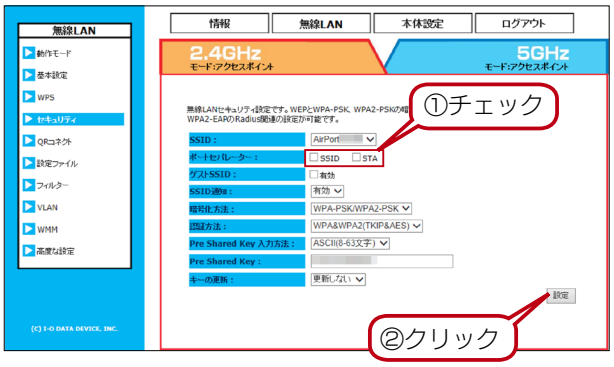
1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。



2 [セキュリティ] をクリックし、設定を変更する周波数帯のタブをクリックします。



3 ポートセパレーターの [SSID] または [STA] にチェックをつけ、[設定] ボタンをクリックします。
※ [ゲスト SSID] にチェックして設定すると、[SSID]、[STA] ともに有効となり、LAN2 ポートのポート VLAN が有効となります。



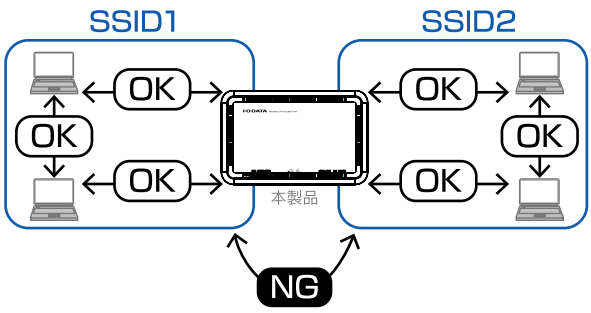
これで設定は完了です。

ご注意

● 2.4GHz 帯と 5GHz 帯で異なる設定をおこないたい場合は、設定画面で「無線 LAN バンドステアリング」を無効に設定してください。(【●その他の設定】65 ページ参照)

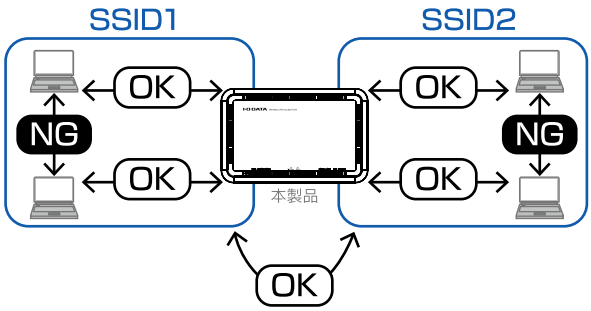
SSID ベースのポートセパレーターとは

SSID を単位として、他の SSID に属する機器から接続が行えないように隔離します。
※ SSID ごとに有効、無効の設定はできません。



STA ベースのポートセパレーターとは

SSID 内で、その SSID に属するクライアント個々の接続をできないようにします。



※ [SSID] と [STA] のポートセパレーターは、併用することができます。ただし、各クライアントは、有線 LAN 側の接続のみ可能となります。
※【ゲスト用ネットワークには、セキュリティーを十分に考慮する】(9 ページ) もご覧ください。

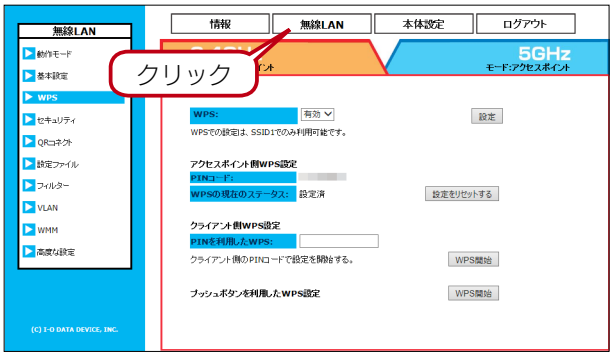
ポート VLAN について

【ポート VLAN を使用する】(32 ページ) をご覧ください。

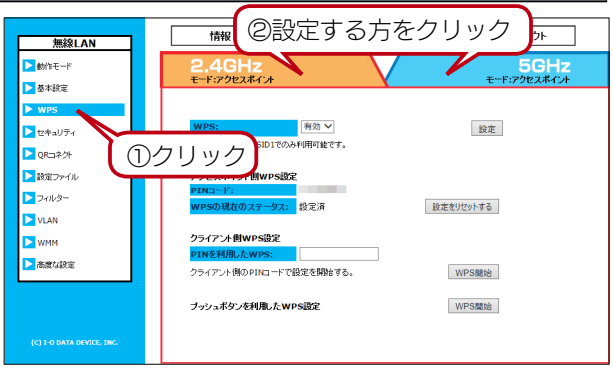
MAC アドレスフィルターを利用する

登録した機器（MAC アドレス）のみから接続可能なよう、フィルタリングを施すことができます。
はじめに WPS を無効に設定してから、フィルタリングの設定をおこないます。

1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。

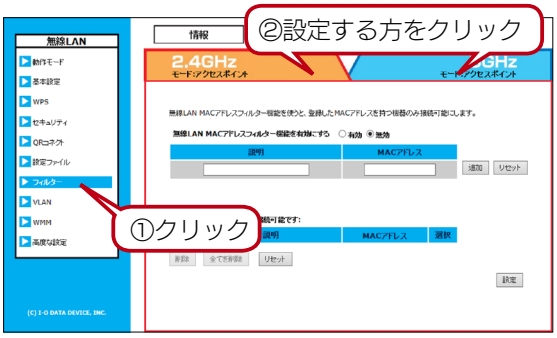


2 [WPS] をクリックし、WPS（Wi-Fi PROTECTED SETUP）を使用する周波数帯のタブをクリックします。

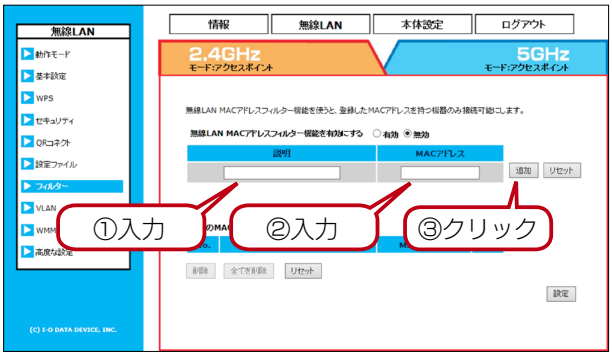


3 WPS を「無効」にし、[設定] ボタンをクリックします。

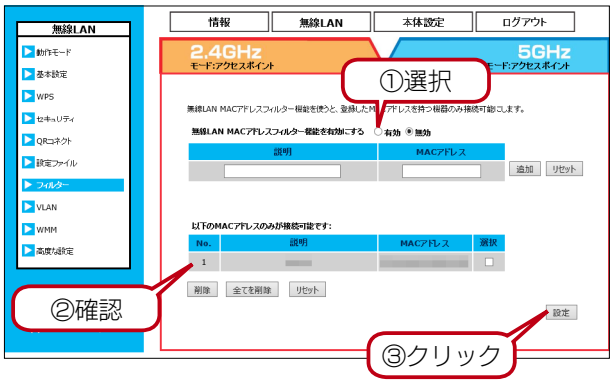
4 [フィルター] をクリックし、MAC アドレスフィルター機能を使用する周波数帯のタブをクリックします。



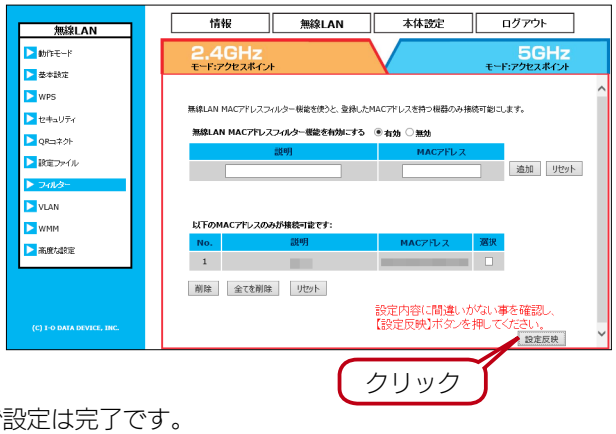
5 ①機器に関するコメントを入力してください。
②接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。
※半角英数字のみ入力可能です。
③入力後、[追加] ボタンをクリックします。
※ MAC アドレスは続けて 12 桁入力します。
（間に "-" や " : " を入れない）



6 [無線 LAN MAC アドレスフィルター機能を有効にする] を [有効] にし、入力した内容が表示されていることを確認して、[設定] ボタンをクリックします。



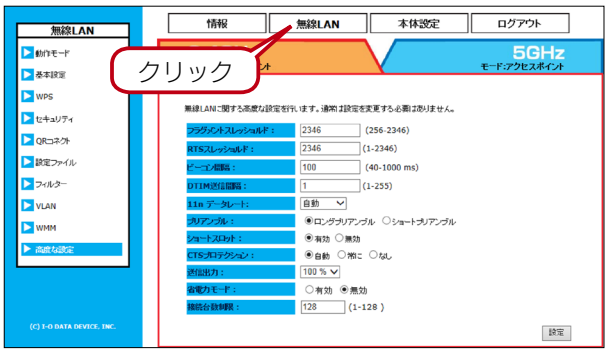
7 設定内容を確認し、[設定反映] ボタンをクリックします。



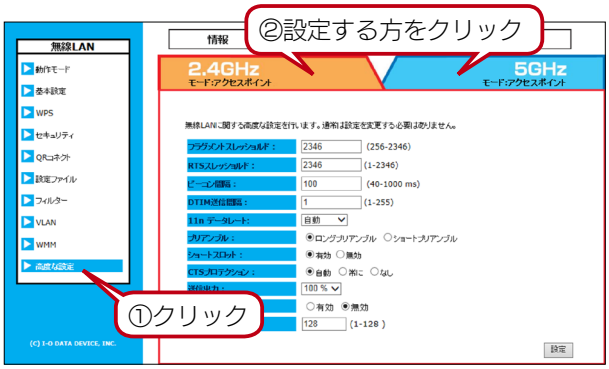
これで設定は完了です。

省電力機能を有効にする

1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。



2 [高度な設定] をクリックし、設定を変更する周波数帯のタブをクリックします。



3 [省電力モード] で [有効] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。

これで設定は完了です。

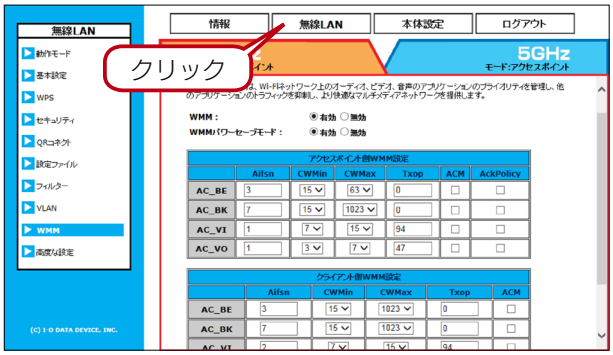
省電力モードの仕組み

一定時間無線通信がない場合、無線の休止間隔を自動でつくり、消費電力を抑えます。
無線 LAN クライアント側からの接続があった場合には、自動的に on に復帰します。

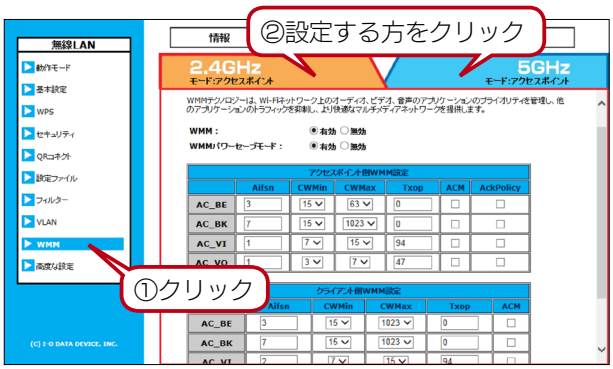
WMM を使用する

無線での QoS(Quality of Service) を有効にします。動画、音声など特定のパケットに対して、優先的に構成を確保します。
※通常は、画面内の設定を変更する必要はありません。

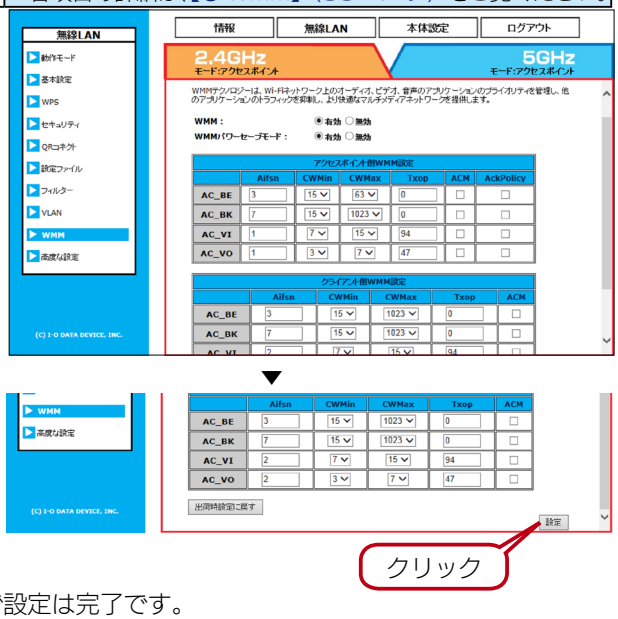
1 設定画面を開き、[無線 LAN] をクリックします。



2 [WMM] をクリックし、設定を変更する周波数帯のタブをクリックします。



3 必要に応じて設定を変更し、[設定] ボタンをクリックします。
※通常は設定を変更する必要はありません。
※各項目の詳細は、【● WMM】（60 ページ）をご覧ください。



これで設定は完了です。

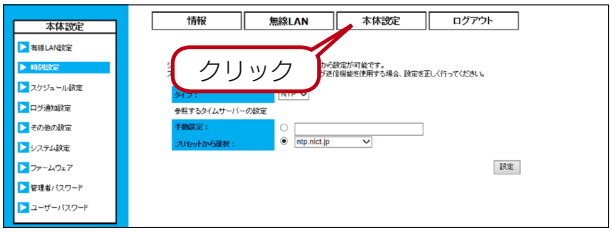
【もくじへ】

システム設定

時刻を設定する

システムの現在の時間を手動または NTP サーバーから設定できます。

1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。



2 [時刻設定] をクリックし、時刻を設定します。

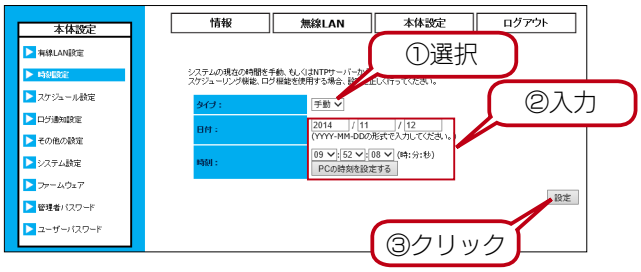
手動で設定する場合

①[タイプ] で「手動」を選択します。

②[日付]、[時刻] を入力します。

※ [PC の時刻を設定する] ボタンを押すと、お使いのパソコンから時刻情報を取得できます。

③[設定] ボタンをクリックします。



NTP サーバーから時刻情報を取得する場合

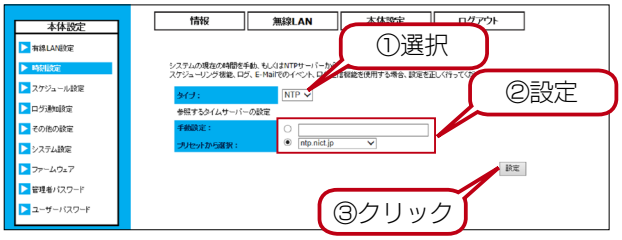
①[タイプ] で [NTP] を選択します。

②参照するタイムサーバーの設定をします。

参照先のタイムサーバーはプルダウンメニューから選択できます。

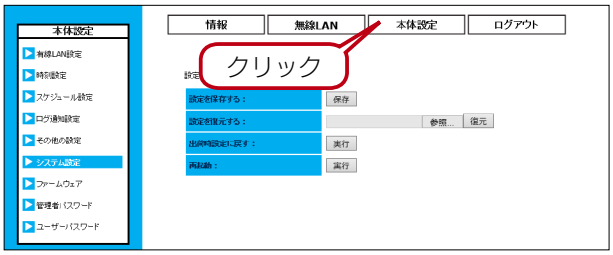
任意で指定する場合は、手動設定にチェックをつけ、タイムサーバーのアドレスを入力します。

③[設定] ボタンをクリックします。

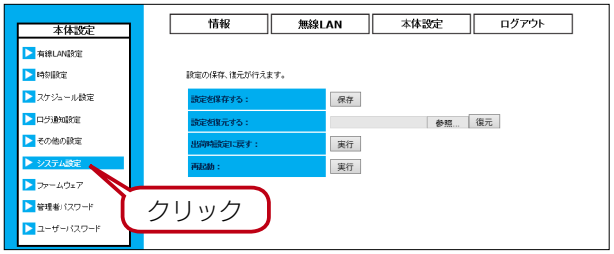


設定を保存 / 復元する

1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。

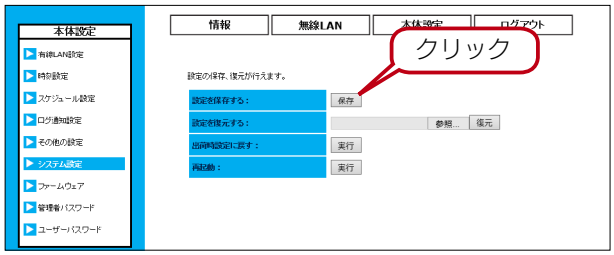


2 [システム設定] をクリックします。



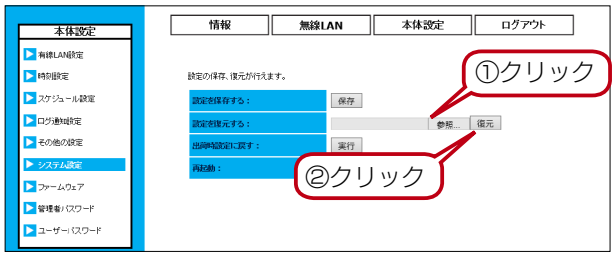
パソコンに設定を保存する場合

[保存] ボタンをクリックし、保存先を選択します。
config“日時”.cfg というファイル名で設定が保存されます。



パソコンから設定を復元する場合

[設定を保存する] で書き出した設定情報を復元できます。
① [参照] ボタンをクリックし、ファイルを指定します。
② [復元] ボタンをクリックします。
これで設定が復元されます。

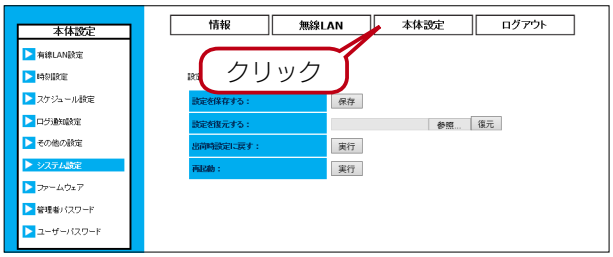


初期化する

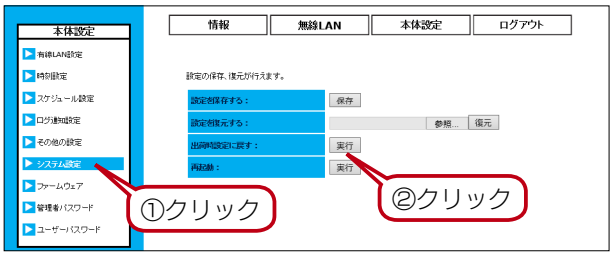
ご注意

●以下の作業をおこなうと、本製品のすべての設定が出荷時状態に戻ります。ご注意ください。

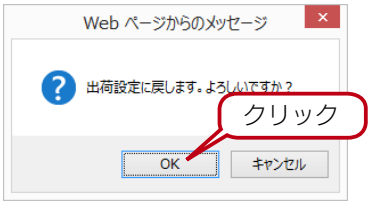
1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。



2 [システム設定] をクリックし、[出荷時設定に戻す] の [実行] ボタンをクリックします。



3 以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

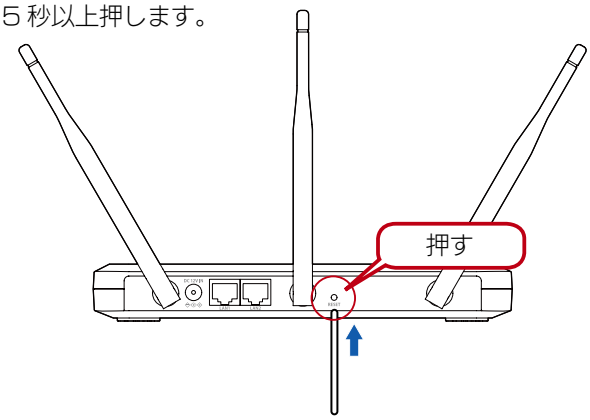


4 しばらくお待ちください。初期化には2分程度かかります。
「初期化中です、あと 0 秒お待ちください。」とカウントがとまったら初期化は完了です。
Web ブラウザーを終了し、「Magical Finder」で IP アドレスの設定をおこなってください。

本製品をリセットスイッチで初期化する場合

①本製品が通常動作状態であることを確認します。
(POWER ランプ：点灯、STATUS ランプ：消灯)

②クリップなどの細い棒で本製品背面のリセットスイッチを 5 秒以上押します。

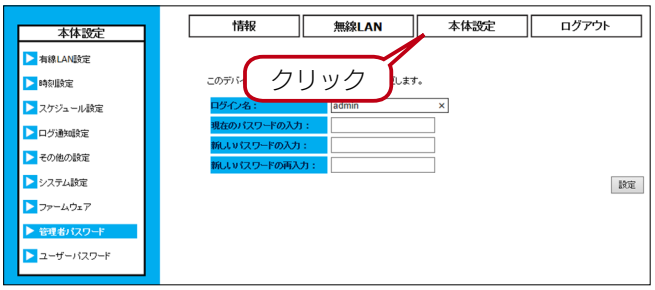


③本製品の STATUS ランプが点滅したら、リセットスイッチを離します。

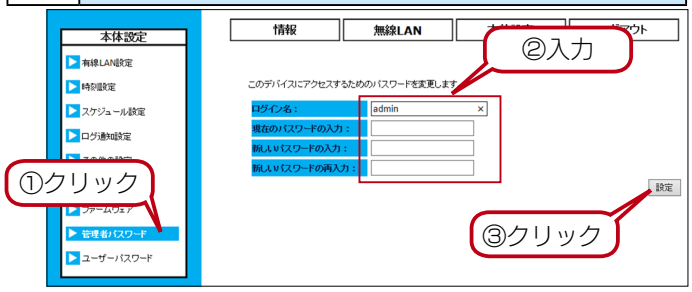
この後、しばらくお待ちください。
STATUS ランプが点滅→消灯したら、初期化完了です。
(約2分)

管理者パスワードを変更する

1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。



2 [管理者パスワード] をクリックし、現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、[設定] ボタンをクリックします。



これで設定は完了です。

ファームウェアの更新

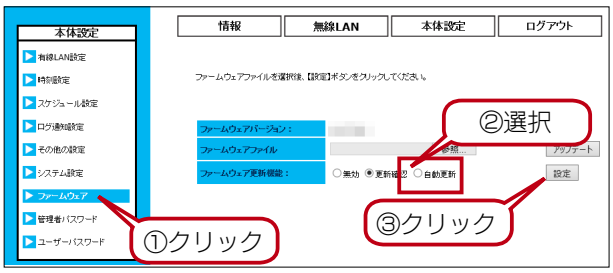
ファームウェアの更新の確認方法により、バージョンアップ方法が異なります。

自動更新する方法

ファームウェアの更新を自動的に確認し、更新がある場合は自動的にアップデートをおこないます。

1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。

2 [ファームウェア] をクリックし、[ファームウェア更新機能] で [自動更新] を選択し、[設定] をクリックします。



これで設定は完了です。
自動的に更新の確認およびアップデートがおこなわれます。

更新頻度を高めたい

更新の確認は月に３回、深夜に自動的におこなわれます。また更新の確認をおこなう日時を追加設定することもできます。（【スケジュールを作成する】27 ページ参照）

自分の好きな時間に自動更新したい

【自動で更新を確認し、手動で更新する方法】（42 ページ）の設定をした上で、スケジュール機能を使って自動更新します。（【スケジュールを作成する】27 ページ参照）

ご注意

月に3回、深夜にファームウェアの更新を確認し、最新版がある場合は、更新します。

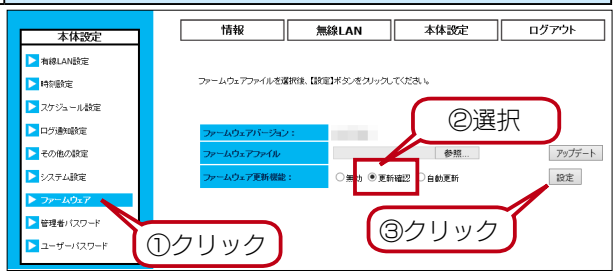
- ●ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- ●ファームウェアの更新中（約２分）は本製品を使用できません。

自動で更新を確認し、手動で更新する方法

ファームウェアの更新のお知らせを自動的に受け取り、内容を確認してから更新します。（出荷時設定）
※ファームウェアの更新がある場合、UPDATE ランプが点滅します。

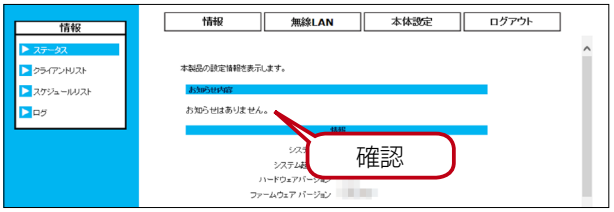
1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。

2 [ファームウェア] をクリックし、[ファームウェア更新機能] で [更新確認] を選択し、[設定] をクリックします。



これで設定は完了です。

3 設定画面を開き、[情報] の [ステータス] の [お知らせ内容] を確認します。



4 [お知らせ] に「F/W アップデートが存在しています。「アップデート」ボタンをクリックすると、ファームウェアを自動で更新します。」のメッセージが表示されていたら、「アップデート」のボタンをクリックします。
⇒ 自動的にファームウェアの更新ファイルのダウンロードおよびアップデートをおこないます。元の画面に戻るまで、しばらくお待ちください。

これで更新は完了です。

更新確認のスケジュール

更新の確認は月に３回、自動的におこなわれます。
またファームウェアの更新がある場合、本製品のお知らせランプが点滅します。

ご注意

ファームウェアの更新中は STATUS ランプが点滅します。（約2分：消灯したら更新完了）

●ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

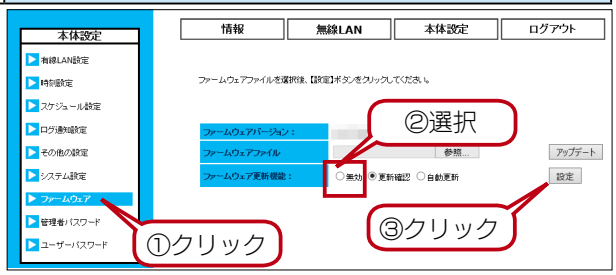
●ファームウェアの更新中は本製品を使用できません。休日や夜間に実行されることをおすすめします。

手動で確認および更新する方法

弊社ホームページでファームウェアの更新ファイルがあるかどうか確認し、更新がある場合は、手動でファームウェアの更新をおこないます。

1 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。

2 [ファームウェア] をクリックし、[ファームウェア更新機能] で [無効] を選択し、[設定] をクリックします。

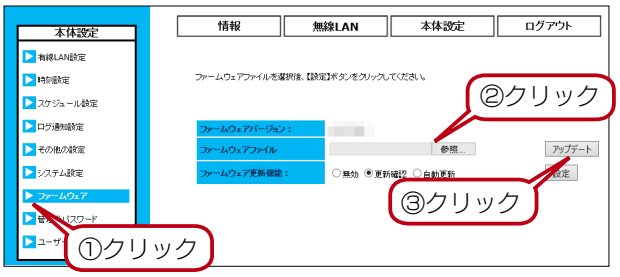


これで設定は完了です。

3 以下より最新のファームウェアの更新ファイルがあるかどうかを確認します。更新がある場合はダウンロードします。http://www.iodata.jp/r/4785

4 設定画面を開き、[本体設定] をクリックします。

5 [ファームウェア] をクリックし、[参照] をクリックし、ファームウェアの更新ファイル（WHG-AC1750ALxxx.dlf）を選択します。（“xxx” には数字が入ります。）[アップデート] をクリックします。
⇒画面の指示にしたがってアップデートします。



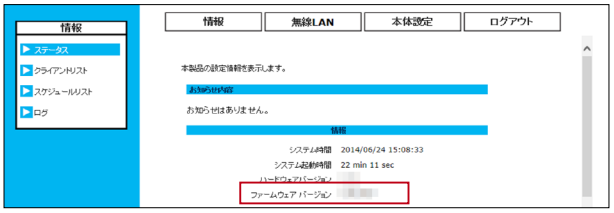
ご注意

ファームウェアの更新中は STATUS ランプが点滅します。（約2分：消灯したら更新完了）

●ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

●ファームウェアの更新中は本製品を使用できません。休日や夜間に実行されることをおすすめします。

6 設定画面を開き、[情報] の [ステータス] で最新のファームウェアになっていることを確認します。



以上でファームウェアの更新は完了です。

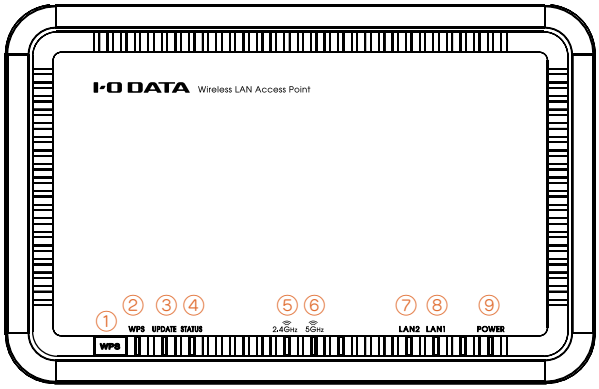
ユーザー登録をおすすめいたします

ユーザー登録していただくと、最新ファームウェアがリリースされた際、メールにてお知らせいたします。
これにより、常に最新のリリース情報を入手できます。
詳しくは、【安全運用のために】（12 ページ）をご覧ください。

仕様

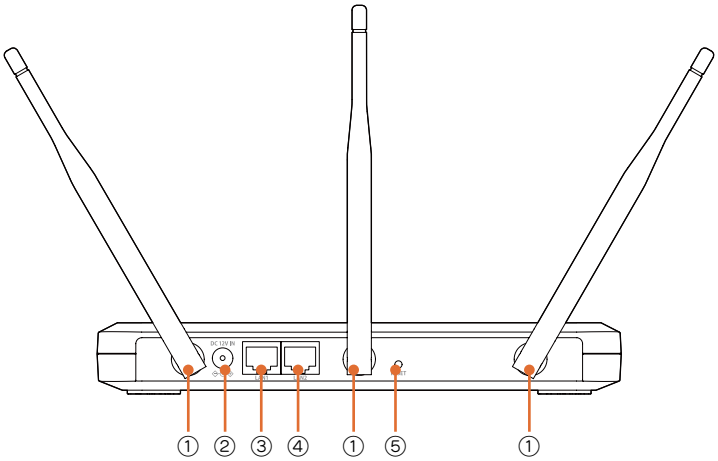
各部の名前

天面



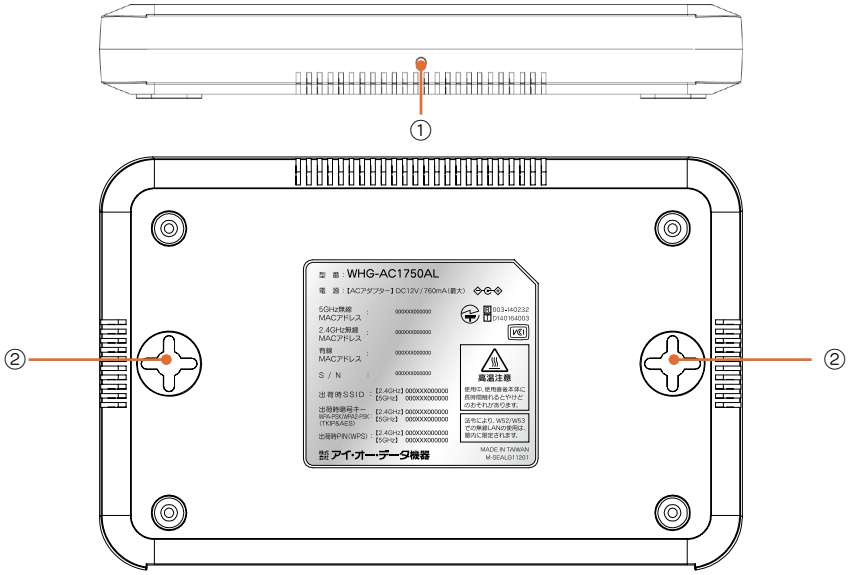
① WPS ボタン	3 秒間長押し：橙点滅	WPS ランプが橙点滅します。2.4GHz 帯の無線の WPS の接続設定を開始します。
	9 秒間長押し：青点滅	WPS ランプが橙点滅から青点滅に変わります。 5GHz 帯の無線の WPS の接続設定を開始します。
	15 秒間長押し：橙点滅	WPS ランプが橙点滅→青点滅→橙点滅に変わります。同時に UPDATE ランプが点灯し、2.4GHz 帯の無線設定情報のコピーを開始します。
	20 秒間長押し：青点滅	WPS ランプが橙点滅→青点滅→橙点滅→青点滅に変わります。同時に UPDATE ランプが点灯し、5GHz 帯の無線設定情報のコピーを開始します。
② WPS ランプ	消灯	通常動作状態
	橙点滅	2.4GHz 帯 無線 LAN WPS 待機状態、WPS 接続動作中、無線設定情報のコピー中
	橙点灯	2.4GHz 帯 無線 LAN WPS 接続成功、無線設定情報のコピー成功
	速い橙点滅	2.4GHz 帯 無線 LAN WPS 接続失敗、無線設定情報のコピー失敗
	青点滅	5GHz 帯 無線 LAN WPS 待機状態、WPS 接続動作中、無線設定情報のコピー中
	青点灯	5GHz 帯 無線 LAN WPS 接続成功、無線設定情報のコピー成功
	速い青点滅	5GHz 帯 無線 LAN WPS 接続失敗、無線設定情報のコピー失敗
③ UPDATE ランプ	消灯	お知らせなし
	点滅	ファームウェアの更新のお知らせ
	点灯	無線設定情報のコピー成功、無線設定情報のコピー中
④ STATUS ランプ	消灯	通常動作中
	点滅	起動 / 再起動中、初期化中、ファームウェア更新中
⑤ 2.4GHz ランプ	消灯	2.4GHz 帯 無線 LAN 停止中
	点灯	2.4GHz 帯 無線 LAN 動作中
	点滅	2.4GHz 帯 無線 LAN 通信中
⑥ 5GHz ランプ	消灯	5GHz 帯 無線 LAN 停止中
	点灯	5GHz 帯 無線 LAN 動作中
	点滅	5GHz 帯 無線 LAN 通信中
⑦ LAN2 ランプ	消灯	有線 LAN リンクなし
	点灯	有線 LAN リンク中
	点滅	有線 LAN 通信中
⑧ LAN1 ランプ	消灯	有線 LAN リンクなし
	点灯	有線 LAN リンク中
	点滅	有線 LAN 通信中
⑨ POWER ランプ	消灯	電源 OFF
	点灯	電源 ON

背面



①アンテナ端子	添付のアンテナを接続します。
② DC-IN	添付の AC アダプターを接続します。
③ LAN1 ポート	パソコンやハブ（ローカルネットワーク側）を接続するためのポートです。 1000BASE-T まで対応の有線リンク速度を自動認識します。接続された LAN ケーブルが「ストレート」か「クロス」かを自動認識します。
④ LAN2 ポート	パソコンやハブ（ローカルネットワーク側）を接続するためのポートです。 1000BASE-T まで対応の有線リンク速度を自動認識します。接続された LAN ケーブルが「ストレート」か「クロス」かを自動認識します。
⑤ RESET スイッチ	本製品の設定を出荷時設定に戻します。【初期化する】（39 ページ）をご覧ください。

前面・底面



①ネジ穴	セキュリティボックスを固定するためのネジ穴です。 ※取り付け方はセキュリティボックスの取扱説明書をご覧ください。
②取り付け穴	本製品をセキュリティボックスや壁に取り付けるための穴です。 ※壁への取り付け方法は、【本製品を壁に取り付ける場合】（14 ページ）をご覧ください。

動作環境

通信できる無線機器

IEEE802.11ac/n (2.4GHz/5GHz) /a/g/b 準拠の無線 LAN 製品と通信できます。
※ J52 チャンネルのみ利用可能な無線 LAN 機器とは通信できません。

対応 OS（日本語版のみ）

Windows 10（32/64 ビット版）
Windows 8.1（32/64 ビット版）
Windows 8（32/64 ビット版）
Windows RT 8.1（32/64 ビット版）
Windows RT 8（32/64 ビット版）
Windows 7 SP1（32/64 ビット版）
Windows Vista SP2(32 ビット版）
Mac OS X 10.5 ～ 10.11
Android 2.3、3.2、4.0、4.1、4.2、4.3、4.4、5.0、6.0
iOS 5 ～ 9

使用可能なプロトコル

TCP/IP（IPv4、IPv6）

設定に必要なソフトウェア

本製品の設定には、以下のいずれかのバージョンの Web ブラウザーが必要です。
Windows の場合：Internet Explorer 8 ～ 11
Microsoft Edge 20
Mac OS X の場合：Safari 6 ～ 7
Android の場合：Android 3.2 まで.....標準ブラウザー
Android 4.0 から.....Chrome
iOS の場合：Safari 5 ～ 7

仕様

対応規格	有線部	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T	
	無線部	IEEE802.11ac/n (2.4GHz/5GHz) /g/b/a	
無線周波数帯域	IEEE802.11ac/n/a	5.15 ～ 5.35GHz（W52、W53）、5.47 ～ 5.725GHz（W56）	
	IEEE802.11n/g/b	2.400 ～ 2.484GHz	
無線チャンネル	IEEE802.11 ac/n（5GHz）/a	[W52] 36、40、44、48ch	
		[W53] 52、56、60、64ch	
		[W56] 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch	
	IEEE802.11 n（2.4GHz）/g/b	1 ～ 13ch（オートチャンネル動作時は、1 ～ 11ch）	
無線変調方式	IEEE802.11ac/n/ a/g	OFDM［BPSK/QPSK/16QAM/64QAM/256QAM］	
	IEEE802.11b	DS-SS［DBPSK/DQPSK/CCK］	
データ転送速度 (理論値)	有線部	LAN：1000Mbps(1000BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)、10Mbps(10BASE-T)	
	無線部	IEEE802.11ac	最大 1300Mbps（80MHz 幅チャネル時）
		IEEE802.11n	最大 450Mbps (40MHz 幅チャネル時)
		IEEE802.11a/g	最大 54Mbps
		IEEE802.11b	最大 11Mbps
	※ 表示の数値は、本製品と同等の構成を持った機器との通信をおこなったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。		
設定可能無線 LAN パラメーター	マルチ SSID (5GHz/2.4GHz)	5GHz 帯 2 / 2.4GHz 帯 2	
	電波出力制限		
管理機能	設定ツール (無線 LAN 一括設定ツール) 対応、設定ユーティリティー (Magical Finder) 対応、ログ管理、スケジュール動作、省電力モード、ポート VLAN、Easy Copy 機能		
無線 LAN セキュリティ	WEP（64/128 bit)、WPA-PSK（TKIP/AES)、WPA2-PSK（TKIP/AES)、MAC アドレス接続制限、ポートセパレーター、SSID 非通知機能		
無線 LAN に接続できる機器の台数	最大 50 台（2.4GHz/5GHz 合計） ※ 同時に通信する台数が 2.4GHz、5GHz の各帯域合わせて 25 台を越える場合は、負荷を分散するために無線 LAN アクセスポイントの台数を増やすことをおすすめいたします。		
アンテナ	2.4GHz/5GHz 外付けアンテナ× 3（RSMA コネクター× 3 搭載）		
LAN ポート	RJ-45 × 2 ポート（Auto Negotiation、Auto MDI/MDI-X 対応）		
有線伝送符号方式	1000BASE-T	8B1Q4	
	100BASE-TX	4B/5B+MLT-3	
	10BASE-T	マンチェスタ符号	
フリーコントロール	Back Pressure（Half-duplex 時）		
	IEEE802.3x（Full-duplex 時）		
MAC アドレステーブル	2K（有線部）		
エージングタイム	5 分		
ジャンボフレーム	対応なし		
電源	DC12V 760mA（最大）		
動作温度範囲	0 ～ 45℃		
動作湿度範囲	10 ～ 85%（結露しないこと）		
保存温度範囲	-5 ～ 60℃		
保存湿度範囲	5 ～ 95%		
外形寸法	約 220(W) × 140(D) × 30(H)mm ※突起部含まず		
質量 (本体のみ)	約 380g		
質量 (梱包時)	約 1010g		
保証期間	3 年		
環境対応	RoHS 指令準拠		
取得規格	無線 LAN：電波法、工事設計認証、電気通信事業法、設計認証 VCCI クラス B		
その他	日本国外では使用できません。		

※ 5.2/5.3GHz 帯は電波法により屋内使用に限定されます。

※ 無線 LAN の実効速度はお使いの環境により異なります。

※ IEEE802.11ac や IEEE802.11n で WPA-PSK(TKIP) または WEP を選択した場合、十分な通信速度が得られません。

出荷時設定

動作モード	2.4GHz		アクセスポイント
	5GHz		アクセスポイント
基本設定(2.4GHz/アクセスポイント)	無線機能		無効
	SSID 数		1
	SSID1		AirPortxxxxx (xは製品ごとに異なります。)
	SSID2		AirPortxxxxx-2 (xは製品ごとに異なります。)
	CopySSID		無効
	オートチャンネル		有効
	チャンネル更新時間		更新しない
	使用する帯域		2.4GHz (802.11n/g/b)
	チャンネル		6 [2.437GHz]
	チャンネルボンディング		20MHz
	マルチキャスト変換 (SSID1)		有効
基本設定(5GHz/ アクセスポイント)	無線機能		無効
	SSID 数		1
	SSID1		AirPortxxxxx (xは製品ごとに異なります。)
	SSID2		AirPortxxxxx-2 (xは製品ごとに異なります。)
	CopySSID		無効
	使用する帯域		5GHz (802.11ac/n/a)
	オートチャンネル		有効 (W52/W53/W56)
	チャンネル更新時間		更新しない
	チャンネル		36 [5.180GHz]
	チャンネルボンディング		20/40/80MHz
	マルチキャスト変換 (SSID1)		有効
セキュリティ	SSID		SSID1 の文字列
	ポートセパレーター	SSID ベース	未選択
		STA ベース	未選択
	SSID 通知		有効
	暗号化方法	SSID1	WPA-PSK/WPA2-PSK
		SSID2	無効
	認証方法		Open System
	キーの長さ		64bit
	入力方法		16 進数（10 文字）
	暗号キー番号		暗号キー 1
	暗号キー 1 ～ 4		(空白)
	認証方法		WPA&WPA2(TIKIP&AES)
	Pre Shared Key 入力方式		ASCII(8 ～ 63 文字)
	Pre Shared Key	SSID1	デフォルトキー
		SSID2	(空白)
QR コード	SSID		未選択
	サイズ		小
設定ファイル	SSID		SSID1 の文字列
	SMTP サーバーアドレス		smtp2.server
	SMTP ポート		25
	認証タイプ		なし
	アカウント		(空白)
	パスワード		(空白)
	E-Mail アドレス		(空白)
	送信元アドレス		(空白)
	メール送信テスト		未選択
フィルター	無線 LAN MAC アドレスフィルター機能を有効にする		無効
		説明	(空白)
		MAC アドレス	(空白)
VLAN	VLAN		無効
	SSID1 ～ 2 ポート		1
WMM	WMM		有効
	WMM パワーセーブモード		有効

WPS	WPS	有効
	PIN コード	2.4GHz、5GHz のプリセットキーの下 8 桁
	WPS の現在のステータス	設定済み
	PIN を利用した WPS	(空白)
高度な設定	フラグメントスレッショルド	2346
	RTS スレッショルド	2347
	ビーコン間隔	100
	DTIM 送信間隔	1
	データレート	自動
	11n データレート	自動
	プリアンブル	ロングプリアンブル
	ショートスロット	有効
	CTS プロテクション	自動
	送信出力	100%
	省電力モード	無効
	接続台数制限	128
有線 LAN 設定	IP アドレスの設定方法	DHCP 自動取得
	IP アドレス	192.168.0.201
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.201
	DNS タイプ	ダイナミック
	プライマリ DNS サーバー	0.0.0.0
	セカンダリ DNS サーバー	0.0.0.0
時刻設定	タイプ	NTP
	参照するタイムサーバーの設定	プリセットから選択
	手動設定	(空白)
	プリセットからの選択	ntp.nict.jp
	日付	2014/01/01
	時刻	00:00:00
スケジュール設定	作成するスケジュール	再起動
	曜日	未選択
	時間	0 時 0 分
ログ通知設定	ログレベル	標準
その他の設定	デバイス名	WHG-AC1750AL
	5GH z と 2.4GHz のセパレート	無効
	最適ローミング (IEEE802.11k)	有効
	無線 LAN ローミングアシスト	有効
	無線 LAN ロードバランシング	有効
	無線 LAN ハンドステアリング	有効
	無線 LAN 弱電波子機強制切断機能	有効
	無線接続時は設定画面をひらかせない	有効
	AirPort Quick Copy	有効
	AirPort Quick Copy HG	有効
	AirPort Easy Copy	有効
	有線 LAN フリーコントロール	有効
	有線 LAN EEE	有効
	LED 消灯	無効
システム設定	設定を復元する	(空白)
ファームウェア	ファームウェアファイル	(空白)
	ファームウェア更新機能	更新確認

管理者パスワード	ログイン名	admin
	現在のパスワードの入力	(空白)
	新しいパスワードの入力	(空白)
	新しいパスワードの再入力	(空白)
ユーザーパスワード	一般ユーザを有効にする	無効
	ログイン名	user
	現在のパスワードの入力	(空白)
	新しいパスワードの入力	(空白)
	新しいパスワードの再入力	(空白)

ログ一覧

メッセージ	内容	ログレベル	
		標準	詳細
Start Log Message Service!	ログ処理を開始します	○	○
SYS, Application Version: xx	F/W バージョン	○	○
LAN, start	LAN 処理を開始します	○	○
BR, start	ブリッジ処理を開始します	○	○
WLAN*, Wireless mode =	無線 LAN の通信規格 *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz	○	○
WLAN*, SSIDx =	SSIDx の、ESSID を表示 *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz　x は、1-4	-	○
WLAN*, Channel =	無線 LAN のチャンネル *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz	○	○
WLAN*, Max client number =	無線 LAN の接続制限数 *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz	-	○
WLAN*, Beacon Interval =	無線 LAN のビーコン間隔 *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz	-	○
WLAN*, DTIM period =	無線 LAN の DTIM 送信間隔 *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz	-	○
WLAN*, Preamble =	無線 LAN のプリアンブルのモード *：1 が 2.4GHz、2 は 5GHz	-	○
NTP, start NTP Client	NTP クライアントを開始します	○	○
NTP, Time zone = +9.0 Osaka, Sapporo, Tokyo	NTP のタイムゾーン：大阪、札幌、東京ゾーン	○	○
NTP, Daylight saving status: Disable	夏時間設定 :OFF	○	○
NTP, Local time=xxxx/yy/zz aa:bb:cc	NTP サーバーから取得した時間 xxxx：年、yy：月、zz：日、aa：時、bb：分、cc：秒	○	○
LAN, New IP = "xxx,xxx,xxx,xxx"	IP アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx に更新しました xxx.xxx.xxx.xxx：WAN 側の IP アドレス	○	○
HTTP, start	HTTP サーバーを開始します	○	○
HTTP, Stopping	HTTP サーバーを停止します	○	○
HTTP, Address "xxx.xxx.xxx.xxx" login success	ログオンが成功しました xxx.xxx.xxx.xxx：PC の IP アドレス	○	○
HTTP, Address "xxx.xxx.xxx.xxx" login error	ログオンが失敗しました xxx.xxx.xxx.xxx：PC の IP アドレス	○	○
HTTP, Address "xxx.xxx.xxx.xxx" logout success	ログオフに成功しました xxx.xxx.xxx.xxx：PC の IP アドレス	○	○
WLAN[2.4G],Available Auto Channel: [CH.1 ~ CH.11]	2.4GHz のオートチャンネルの使用範囲	○	○
WLAN[2.4G], AutoChannel change to x	2.4GHz のオートチャンネルで x チャンネルに変更されました	○	○
WLAN[2.4G], Current channel is best channel	2.4GHz のオートチャンネルで変更はありません	○	○
WLAN[5G],Available Auto Channel: [CH.36, CH.40, CH.44, CH.48]	5GHz のオートチャンネルの使用範囲	○	○
WLAN[5G], AutoChannel change to x	5GHz のオートチャンネルで x チャンネルに変更されました	○	○
WLAN[5G], Current channel is best channel	5GHz のオートチャンネルで変更はありません	○	○
WLAN[5G],cactime done,set channel:x	5GHz 起動時に DFS でレーダー波を検知し、チャンネル x に設定しました	○	○
WLAN[5G],dfs cac time,changing to channel:x(y MHz)	5GHz 起動時に DFS でレーダー波を検知し、チャンネル x に設定しました	○	○
WLAN[5G], changing to channel: x (y MHz)	5GHz 起動時に DFS でレーダー波を検知し、チャンネル x に設定しました	○	○
Station [xx:xx:xx:xx:xx:xx] associated to [yy:yy:yy:yy:yy:yy]	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が接続を開始しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス yy:yy:yy:yy:yy:yy：無線 LAN クライアントが接続する BSSID	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］start authentication	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が認証を開始しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］WPA/WPA2 authentication successful	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA/WPA2 認証に成功しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］WPA/WPA2 authentication fail	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA/WPA2 認証に失敗しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］disassociated	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が切断しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］sending 1/4 msg of 4-Way Handshake	Step.1/4 メッセージを送信しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○

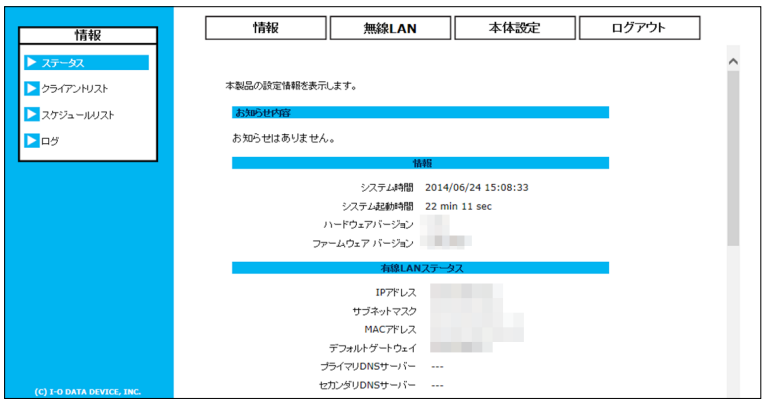
メッセージ	内容	ログレベル	
		標準	詳細
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］received EAPOL-Key frame (2/4 Pairwise)	Step.2/4 ペアワイズキーの EAPOL キーフレームを取得しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］sending 3/4 msg of 4-Way Handshake	Step.3/4 メッセージを送信しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］received EAPOL-Key frame (4/4 Pairwise)	Step.4/4 ペアワイズキーの EAPOL キーフレームを取得しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］pairwise key handshake completed (WPA)	WPA のペアワイズキーのハンドシェイクが完了しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］pairwise key handshake completed (RSN)	WPA2 のペアワイズキーのハンドシェイクが完了しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］sending 1/2 msg of Group Key Handshake	Step.1/2 グループキーを送信しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］received EAPOL-Key frame (2/2 Group)	Step.2/2 グループキーフレームを受信しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］group key handshake completed (WPA)	WPA のグループキーのハンドシェイクが完了しました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］EAPOL-Key timeout	EAPOL-Key の受信タイムアウトが発生しました。 xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］invalid MIC in msg 2/4 of 4-Way Handshake	Step.2/4 ペアワイズキーの MIC が異なっています xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	-	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information WPA-PSK(TKIP)	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA-PSK(TKIP) で接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information WPA-PSK(AES)	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA-PSK(AES) で接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information WPA2-PSK(TKIP)	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA2-PSK(TKIP) で接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information WPA2-PSK(AES)	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が WPA2-PSK(AES) で接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information No encryption	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が暗号化なしで接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information IEEE802.1X	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が IEEE802.1X(Dynamic WEP) で接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］Encryption Information WEP	クライアント xx:xx:xx:xx:xx:xx が Static WEP で接続を行いました xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス	○	○
SCHEDULE, start Schedule	スケジュール機能を開始しました	○	○
SCHEDULE, Schedule Stopping	スケジュール機能を停止しました	○	○
SCHEDULE, start Wireless Off	無線の無効処理を開始しました	○	○
SCHEDULE, Stop Wireless Off	無線の無効処理を停止しました	○	○
SCHEDULE, start Wireless On	無線の有効処理を開始しました	○	○
SCHEDULE, Stop Wireless On	無線の有効処理を停止しました	○	○
SCHEDULE, start System Reboot	再起動処理を開始しました	○	○
SCHEDULE, stop System Reboot	再起動処理を停止しました	○	○
SCHEDULE, Start Firmware Check	ファームウェアチェック機能を開始する。	○	○
SCHEDULE, Start Auto Channel	オートチャンネル検索を開始する。	○	○
SMTP, Send mail failed	設定ファイルのメール送信に失敗しました	○	○
IPv6, Link Local mode	IPv6 の Link Local モードに入りました	○	○
FWCHECK, start new firmware version check	ファームウェアチェック機能を開始しました	○	○
FWCHECK, No Firmware Available	新しいファームウェアが存在しません	○	○
FWCHECK, New Firmware Ver x.x Available	新しいファームウェアが存在する	○	○
HTTPS,start	HTTPS サーバーを開始する	○	○
HTTPS,stop	HTTPS サーバーを停止する	○	○
udp_receiver, Stopping	無線 LAN ローミングアシスト	○	○
WLAN[a], Station［xx:xx:xx:xx:xx:xx］disassociated, rssi［c］	無線 LAN 弱電波子機強制切断機能を行いました a：2.4G または 5G xx:xx:xx:xx:xx:xx：無線 LAN クライアントの MAC アドレス c：電波強度（dBm）	○	○

設定画面一覧

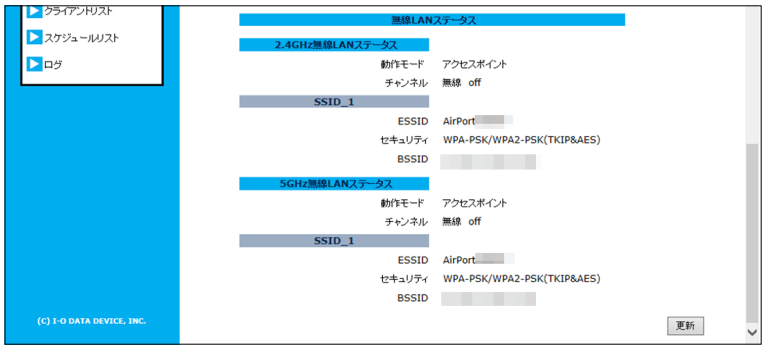
情報

●ステータス

本製品の現在のステータスを表示します。



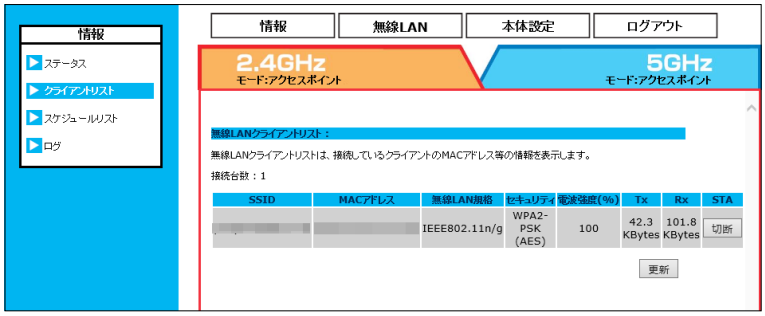
▼



お知らせ内容	
ファームウェアの更新情報などお知らせ内容を表示します。	
情報	
システム時間	システムの現在の時間を表示します。
システム起動時間	システムの起動時からの時間を表示します。
ハードウェアバージョン	本製品のハードウェアのバージョンを表示します。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンを表示します。
有線 LAN ステータス	
ＩＰアドレス	本製品の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
MAC アドレス	有線 LAN ポートの MAC アドレスを表示します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
プライオリティ DNS サーバー	優先度 1 の DNS サーバーを表示します。
セカンダリ DNS サーバー	優先度 2 の DNS サーバーを表示します。
無線 LAN ステータス	
2.4GHz 無線 LAN ステータス	2.4GHz 側の無線 LAN のステータスを表示します。
5GHz 無線 LAN ステータス	5GHz 側の無線 LAN のステータスを表示します。
動作モード	ご利用の周波数の動作モードを表示します。
チャンネル	動作しているチャンネルを表示します。
ESSID	動作している SSID を表示します。
セキュリティ	アクセスポイントの動作しているセキュリティモードを表示します。
BSSID	アクセスポイントの BSSID が表示されます。

●クライアントリスト

本製品に接続されているクライアントのリストを表示します。



接続台数	各帯域で接続されている台数を表示します。
SSID	接続しているクライアントの ESSID を表示します。
MAC アドレス	接続しているクライアントの MAC アドレスを表示します。
無線 LAN 規格	接続しているクライアントの無線通信規格を表示します。
セキュリティ	接続しているクライアントのセキュリティ方式を表示します。
電波強度 (%)	接続しているクライアントの電波強度 (%) を表示します。
Tx	送信パケット数を表示します。
Rx	受信パケット数を表示します。
STA	［切断］を押すと、接続しているクライアントを切断します。

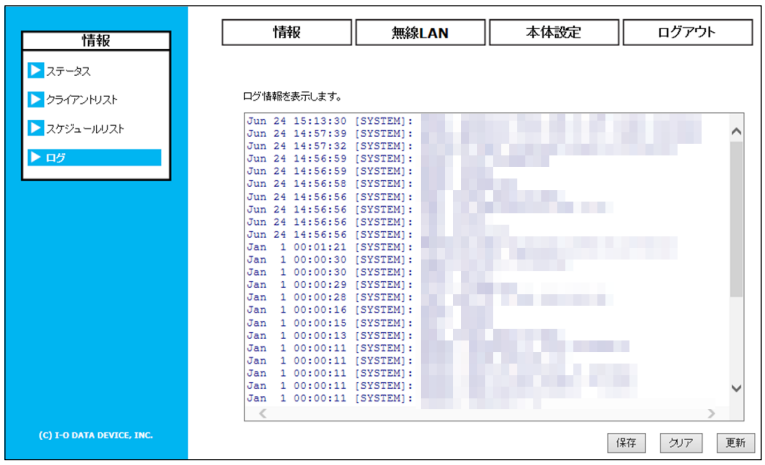
●スケジュールリスト

本製品に設定されているスケジュールを一覧で表示します。

[削除] ボタン	表示されているスケジュール項目を削除します。
[設定] ボタン	スケジュールの削除を反映します。

●ログ

ログの内容については、【ログ一覧】（50 ページ）をご覧ください。



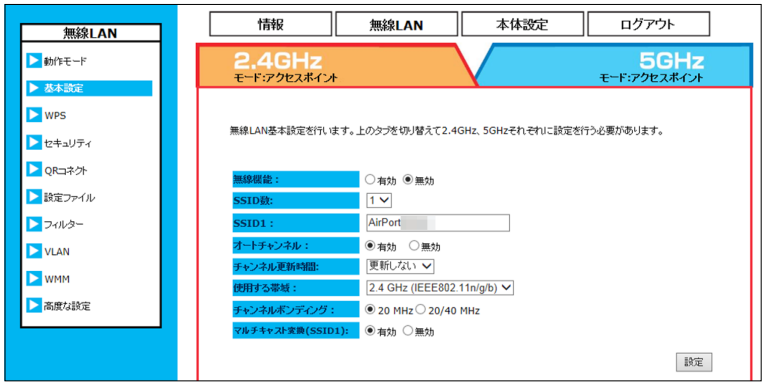
[保存] ボタン	表示されているログを保存します。
[クリア] ボタン	ログを消去します。
[更新] ボタン	最新の情報に更新します。

無線 LAN

●動作モード

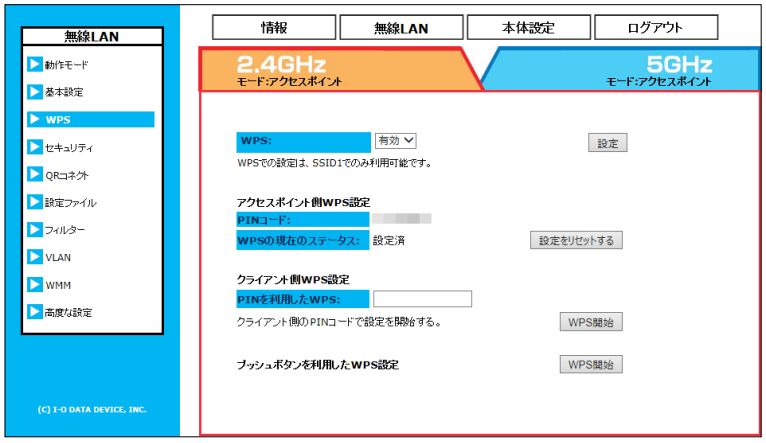
アクセスポイント	通常のアクセスポイントとして使用します。接続できるのは無線クライアントのみとなります。
無効	無線機能を無効にします。

●基本設定



無線機能	無線の有効、無効を設定します。	
SSID 数	マルチ SSID を使用する場合、設定します。SSID 数は最大、片方の周波数帯に 2 つまで設定できます。 また、SSID 数とは別に CopySSID が 1 つ使用できます。	
SSID1 ～ 2	SSID 名を設定します。 ※ 1 ～ 32 文字の ASCII 文字 ※「無線 LAN バンドステアリング」機能を有効にしている場合、5GHz 帯の SSID1 は 2.4GHz 帯の SSID1 と同じ設定になり、5GHz 帯の SSID1 の設定はおこなえません。(【●その他の設定】65 ページ参照)	
CopySSID	Wi-Fi コピー機能でコピーすると、コピー元のアクセスポイントの SSID が登録されます。	
オートチャンネル	オートチャンネル使用時は「有効」にします。	
チャンネル更新時間	オートチャンネル 「有効」時、使用チャンネルの更新間隔を設定できます。	
チャンネル	2.4GHz	1 ～ 13 ch から選択します。
	5GHz	36、40、44、48、52、56、60、64、100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140 ch から選択します。
使用する帯域	使用する無線規格を選択します。	
チャンネルボンディング	使用する帯域を選択します。チャンネルボンディングを使用する場合は「20/40MHz」を選択します。	
マルチキャスト変換 (SSID1)	マルチキャスト変換の有効、無効を設定します。SSID1 にのみ設定できます。	

● WPS



WPS	WPS での設定をおこなう場合「有効」にします。ボタンでの設定などをおこなわない場合「無効」にしておくと不用意な操作を無効にできます。　※ WPS での設定は、SSID1 でのみ利用できます。

アクセスポイント側 WPS 設定

PIN コード	本製品の PIN コードを表示します。
WPS の現在のステータス	WPS の現在のステータスを表示します。
設定をリセットする	WPS の設定ステータスをリセットします。

クライアント側 WPS 設定

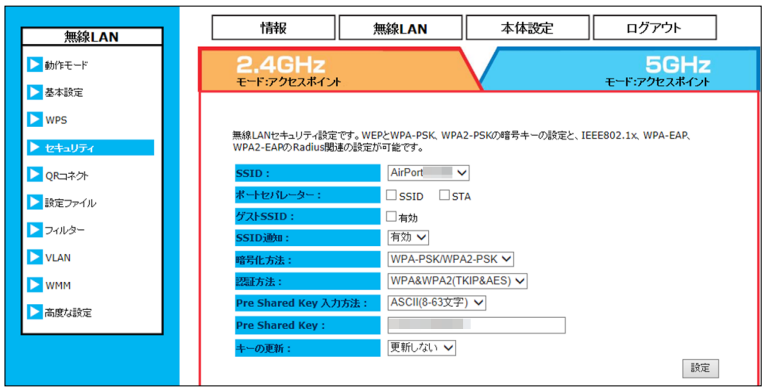
PIN を利用した WPS	クライアント側の PIN コード使用した WPS 機能を実行します。
WPS 開始	クライアント側の PIN コードで設定を開始します。

プッシュボタンを利用した WPS 設定

WPS 開始	プッシュボタンを使用した WPS 設定を設定画面上から開始します。

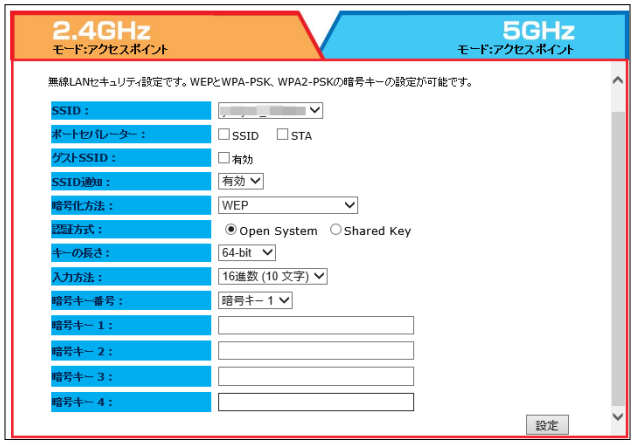
●セキュリティ

・WPA-PSK/WPA2-PSK の場合



SSID	セキュリティ設定をおこなう SSID を選択します。	
ポートセパレーター	各モードについては【ポートセパレーターを使用する】（33 ページ）をご覧ください。 ※ 2.4GHz 帯と 5GHz 帯で異なる設定をおこないたい場合は、設定画面で「無線 LAN バンドステアリング」を無効に設定してください。（【●その他の設定】65 ページ参照）	
	SSID	SSID ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
	STA	STA ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
ゲスト SSID	ポートセパレーターの [SSID] と [STA] が有効になり、LAN2 ポートのポート VLAN が有効となります。	
SSID 通知	[無効] に設定するとクライアントから設定済みの SSID を見えない状態にします。	
暗号化方法	暗号化をおこなう方法を設定します。	
認証方法	認証方法を選択します。	
	WPA（TKIP）	WPA-PSK の TKIP 方式暗号化に対応します。
	WPA（AES）	WPA-PSK の AES 方式暗号化に対応します。
	WPA（TKIP&AES）	WPA-PSK の TKIP 方式と AES 方式どちらにも対応します。
	WPA2（AES）	WPA2-PSK の AES 方式暗号化に対応します。
	WPA&WPA2（TKIP&AES）	WPA-PSK と WPA2-PSK の両方に対応しており、クライアントの暗号方式を自動的に判別して接続します。 WPA-PSK や WPA2-PSK のクライアントが同時に接続することができます。
Pre Shared Key 入力方法	Pre Shared Key の入力方法を選択します。	
	ASCII	半角英数字を入力します。
	16 進数	0 ～ 9 または A ～ F の文字列を入力します。
Pre Shared Key	暗号文字を入力します。 セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。	
	ASCII	8 ～ 63 文字の半角英数字で入力します。
	16 進数	64 文字の 0 ～ 9 または A ～ F の文字列を入力します。
キーの更新	キーの更新間隔を選択します。	

・WEP の場合

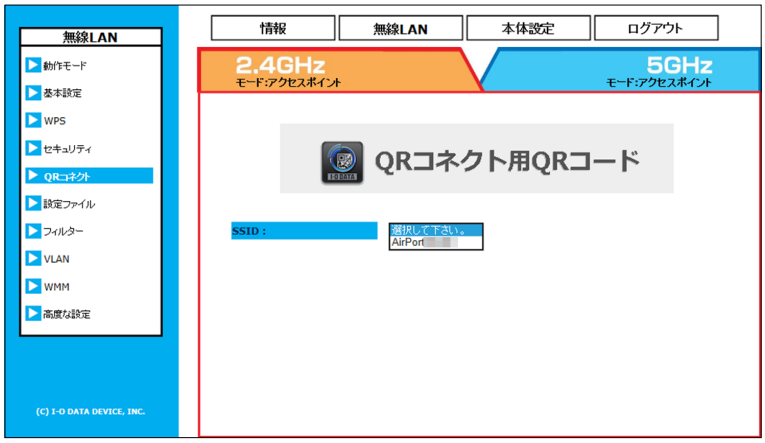


SSID	セキュリティ設定をおこなう SSID を選択します。	
ポートセパレーター	各モードについては【ポートセパレーターを使用する】（33 ページ）をご覧ください。	
	SSID	SSID ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
	STA	STA ベースのポートセパレーター機能を有効にする場合にチェックをつけます。
ゲスト SSID	ポートセパレーターの [SSID] と [STA] が有効になり、LAN2 ポートのポート VLAN が有効となります。	
SSID 通知	[無効] に設定するとクライアントから設定済みの SSID を見えない状態にします。	
暗号化方法	暗号化をおこなう方法を設定します。	
認証方法	「Open System」か「Shared Key（共有キー）」かを選択します。	
キーの長さ	WEP のキー長は 64bit か 128bit を使用できます。	
入力方法	ASCII	半角英数字を入力します。
	16 進数	0 ～ 9 または A ～ F の文字列を入力します。
暗号キー番号	WEP の有効になる暗号キー番号を選択します。	
暗号キー 1 ～ 4	WEP の暗号キーを入力します。セキュリティのため、英字、数字を織り交ぜたランダムなキーを設定してください。	

	64bit	128bit
ASCII	5 文字	10 文字
16 進数	13 文字	26 文字

● QR コネクト

スマートフォンやタブレットを簡単に接続するための QR コードを生成することができます。
スマートフォンやタブレットに「QR コネクト」アプリをインストールしてください。
「QR コネクト」の画面の指示にしたがって、本設定画面で生成した QR コードを読み取ると、簡単に本製品に接続することができます。

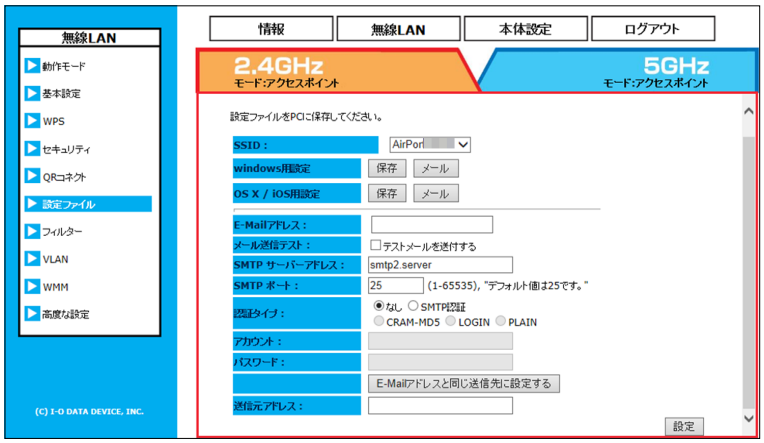


SSID	QR コードを生成する SSID を選択します。

・SSID 選択後の画面

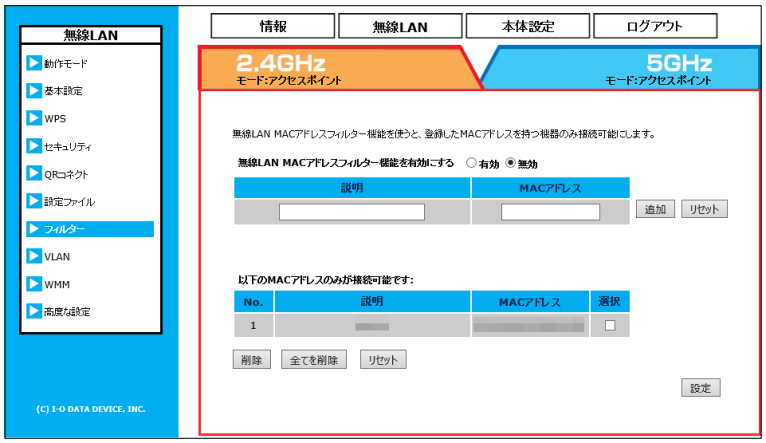
SSID	QR コードの SSID を表示します。
暗号化方法	選択した SSID の暗号化方法を表示します。
暗号キー	選択した SSID の暗号キーを表示します。
サイズ	QR コードのサイズを選択します。
印刷	生成した QR コードを印刷します。
戻る	一つ前の画面に戻ります。

●設定ファイル



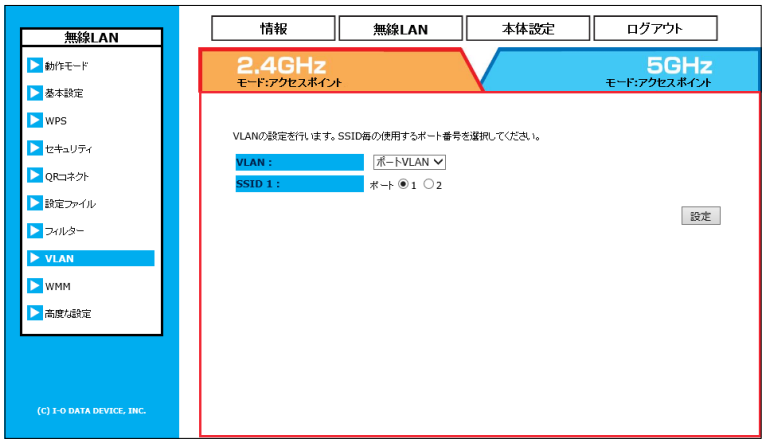
SSID	無線 LAN 設定情報の設定ファイルを保存する SSID を選択します。
windows 用設定	保存する設定ファイルを Windows パソコンで使用する場合は、[保存] または [メール] をクリックします。 メールで送信する場合は、事前に［E-Mail アドレス］より以下の設定をおこなっておいてください。
OS X/iOS 用設定	保存する設定ファイルを Mac OS X のパソコンまたは iOS 端末で使用する場合は、[保存］または［メール］をクリックします。 メールで送信する場合は、事前に［E-Mail アドレス］より以下の設定をおこなっておいてください。
E-Mail アドレス	設定ファイルの送信先メールアドレスを入力します。
メール送信テスト	テストメールを送信します。
SMTP サーバーアドレス	メール送信に利用する SMTP サーバーを設定します。プロバイダや会社のメールサーバーなど、送りたいメールアドレスに合致するサーバー名を入力してください。
SMTP ポート	メール送信に利用する TCP ポート番号を指定します。（初期値：25） ご利用のプロバイダがセキュリティ上の理由で 25 番ポートでのメール送信を遮断している場合は、適切な番号に変更してください。
認証タイプ	認証タイプを選択します。
アカウント	SMTP 認証に用いるアカウントを入力します。
パスワード	SMTP 認証に用いるパスワードを入力します。
送信元アドレス	送信元メールアドレスを入力します。送信先と同じ場合は、［E-Mail アドレスと同じ送信先に設定する］をクリックします。

●フィルター



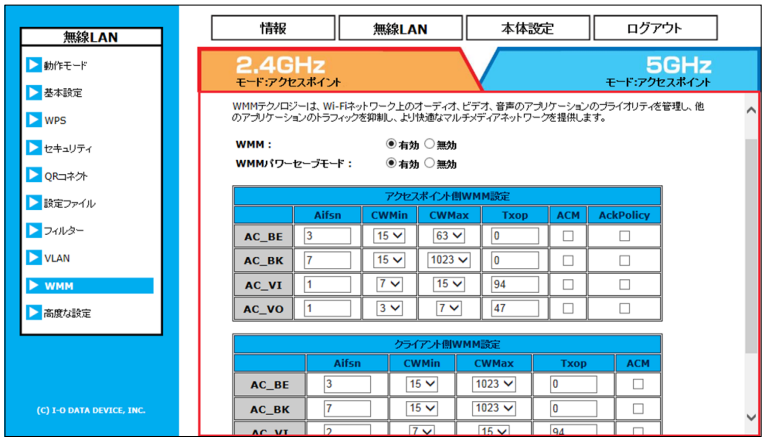
無線 LAN MAC アドレスフィルター機能を有効にする	有効にすると、追加した MAC アドレスのクライアントのみを接続できるようにします。
説明	登録する機器にコメントをつけます。半角英数字のみ入力可能です。
MAC アドレス	接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。半角英数字のみ入力可能です。
[追加] ボタン	許可リストに追加します。
[リセット] ボタン	入力内容をリセットします。
[削除] ボタン	選択した機器（MAC アドレス）を許可リストから削除します。
[全てを削除] ボタン	全ての機器（MAC アドレス）を許可リストから削除します。

● VLAN



VLAN	ポート VLAN をおこなう場合は、［ポート VLAN］を選択します。（出荷時設定：無効）
SSID 1 ～ 2	SSID ごとに使用する LAN ポートの番号を選択します。

● WMM

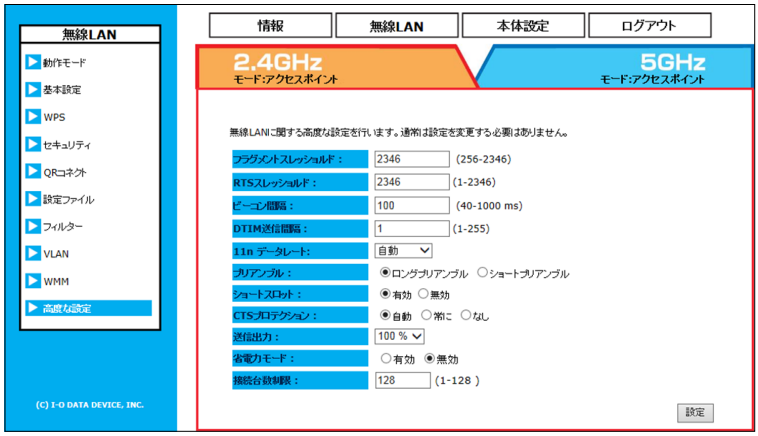


WMM	無線での QoS(Quality of Service) を有効にします。動画、音声など特定のパケットに対して、優先的に構成を確保します。 ※通常は、画面内の設定を変更する必要はありません。
WMM パワーセーブモード	パワーセーブ中の端末から送信されるトリガーフレームを機にデータ転送をおこないます。

Aifsn	CWMin	CWMax	Txop	ACM	AckPolicy
フレーム送信間隔	待機時間 (最小値)	待機時間 (最大値)	占有時間	送信フレーム割り当て制限	Ack の送信

AC_BE	ベストエフォート (Web)
AC_BK	バックグラウンド (Mail)
AC_VI	Video（動画）
AC_VO	Voice（音声）

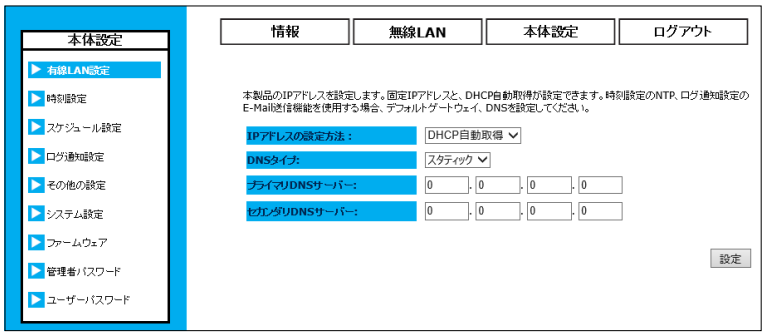
●高度な設定



フラグメントスレッショルド	パケットを分割する際のパケットサイズを 256 ～ 2346 で設定します。 電波状況が悪い場所では値を低めに設定すると効果的ですが、一般にスループットは低下します。 ※本設定は 2.4GHz 帯のみで設定できます。
RTS スレッショルド	RTS パケットのサイズを 1 ～ 2347 で設定します。 アクセスポイントは実際のデータを送信する前に、RTS(送信要求) パケットを送信して、データを送信して良いか確認しています。パケットのサイズを低めに設定すると、頻繁に RTS パケットが送出されるので、一般にスループットは低下します。
ビーコン間隔	ビーコンの間隔を 40 ～ 1000ms で設定します。ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。間隔を短くして頻繁に送信すると通信品質は上がりますが、他の機器との干渉も増えます。
DTIM 送信間隔	ビーコンに対し、どの程度の間隔で DTIM を挿入するかを 1 ～ 255 の間隔で設定します。 DTIM（delivery traffic indication message）とは省電力モードの無線クライアントに対して、パケットが送信待ちであることを伝えるメッセージのことです。DTIM はビーコンに含まれて送信されています。 例えば“2”と設定すると、DTIM が含まれたビーコンと含まれていないビーコンが交互にアクセスポイントから送信されるようになります。
11n データレート	IEEE 802.11n で規定されている MCS インデックスを設定します。 通常は「自動」で使用します。
プリアンブル	「ショートプリアンブル」を選択すると、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、対応していない機器があります。
ショートスロット	スロット時間（フレームの衝突を防ぐ時間）の設定がおこなえます。有効にすると、スループットが向上します。
CTS プロテクション	IEEE 802.11g 規格の無線 LAN と IEEE 802.11b 規格の無線 LAN を同じ無線チャンネルで共存させるために利用する無線フレーム。CTS（clear to send）の合図を受けて IEEE 802.11b 規格の無線 LAN クライアントはデータ送信を延期する挙動をとる。「自動」は CTS フレームのリクエストに応じて、「常に」は IEEE 802.11g 規格の無線 LAN を常に優先に、「なし」は IEEE 802.11g/b 規格の区別なく動作する。
送信出力	電波送信出力レベルを設定します。
省電力モード	無線省電力機能の有効 / 無効を設定する。 「有効」にした場合、一定時間無線通信がない場合、無線の休止間隔を自動でつくり、消費電力を抑えます。 無線 LAN クライアント側からの接続があった場合には、自動的に on に復帰します。
接続台数制限	本製品に対して接続可能な無線 LAN クライアント数の上限を設定します。

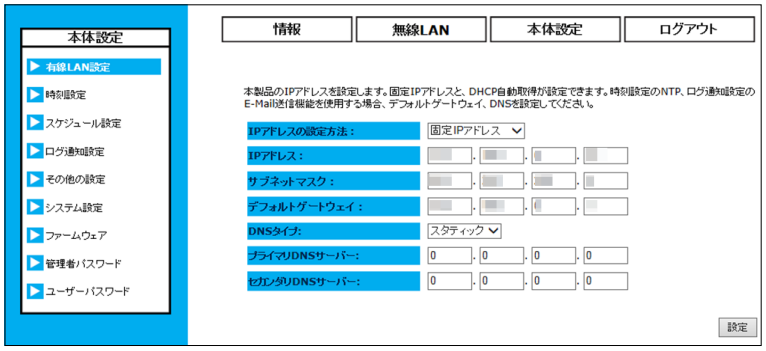
●有線 LAN 設定

・DHCP 自動取得の場合



IP アドレスの設定方法	固定 IP アドレス	本製品の IP アドレスを手動で設定する場合はこちらを選択します。
	DHCP 自動取得	ネットワーク内にブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーがあり、本製品の IP アドレスを自動取得する場合、こちらに設定します。 ※起動時に DHCP サーバーが見つからない場合は、LinkLocal アドレス (169.254.xxx.xxx) が割り当てられます。
DNS タイプ	スタティック	指定した DNS サーバーへの接続をおこないます。
	ダイナミック	DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する場合に選択します。
プライマリ DNS サーバー	本製品が参照するプライマリ DNS サーバーのアドレスを設定します。	
セカンダリ DNS サーバー	本製品が参照するセカンダリ DNS サーバーのアドレスを設定します。	

・固定 IP アドレスの場合



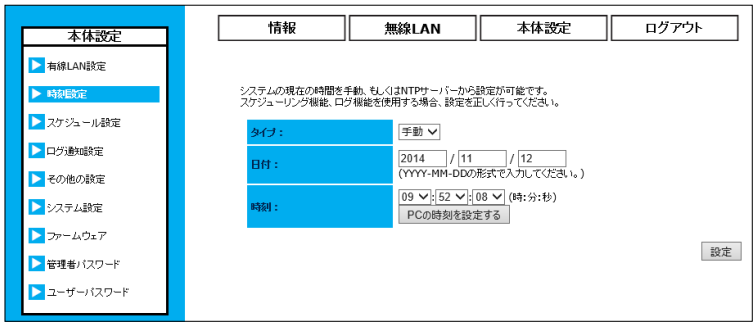
IP アドレスの設定方法	固定 IP アドレス	本製品の IP アドレスを手動で設定する場合はこちらを選択します。
	DHCP 自動取得	ネットワーク内にブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーがあり、本製品の IP アドレスを自動取得する場合、こちらに設定します。 ※起動時に DHCP サーバーが見つからない場合は、LinkLocal アドレス (169.254.xxx.xxx) が割り当てられます。
IP アドレス	本製品に割り当てる IP アドレスを設定します。	
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイサーバーのアドレスを設定します。	
DNS タイプ	スタティック	指定した DNS サーバーへの接続をおこないます。
	ダイナミック	DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する場合に選択します。
プライマリ DNS サーバー	本製品が参照するプライマリ DNS サーバーのアドレスを設定します。	
セカンダリ DNS サーバー	本製品が参照するセカンダリ DNS サーバーのアドレスを設定します。	

●時刻設定

・NTP の場合

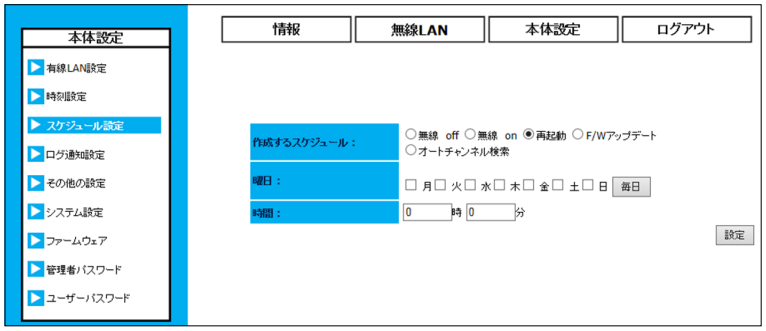
タイプ	手動または NTP サーバーから設定するかを選択します。
手動設定	参照するタイムサーバーを自分で設定します。
プリセットから選択	プリセットされているタイムサーバーから選択して使用します。

・手動の場合



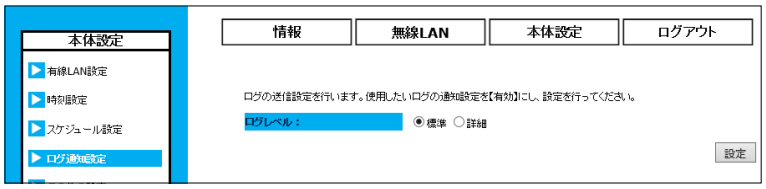
日付	日付を手動で設定します。（西暦　年 / 月 / 日の形式で入力します。）
時刻	時刻を手動で設定します。（24 時間制　時：分：秒の形式で入力します。）
PC の時刻を設定する	お使いのパソコンから時刻情報を取得し本製品に設定します。

●スケジュール設定



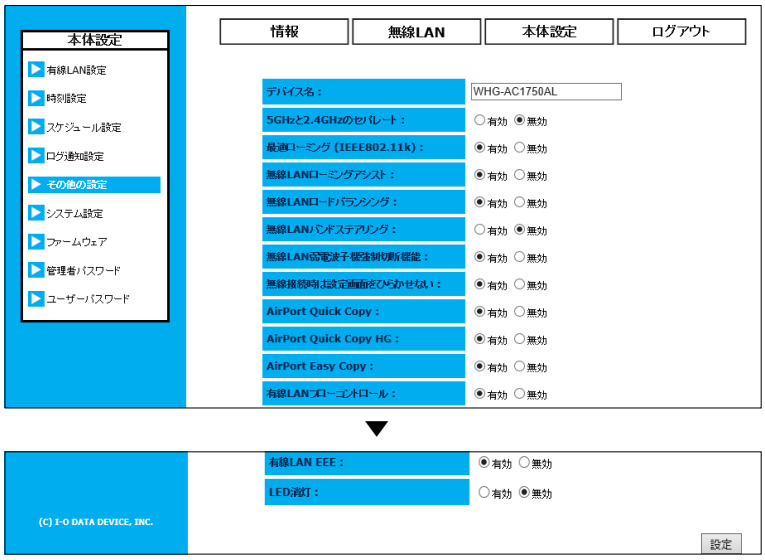
作成するスケジュール	無線 off	スケジュール動作で無線を off にします。
	無線 on	スケジュール動作で無線を on にします。
	再起動	スケジュール動作で再起動をおこないます。
	F/W アップデート	ファームウェアの更新があるかどうかを設定したスケジュール時に確認し、更新がある場合は自動的にアップデートをおこないます。
	オートチャンネル	
曜日	スケジュール動作させる曜日を選択します。	
毎日	すべての曜日にチェックをつけます。	
時間	スケジュール動作させる時刻を設定します。(24 時間制で入力します) ※既に作成したスケジュールの前後 2 分間に他のスケジュールを設定することはできません。	

●ログ通知設定



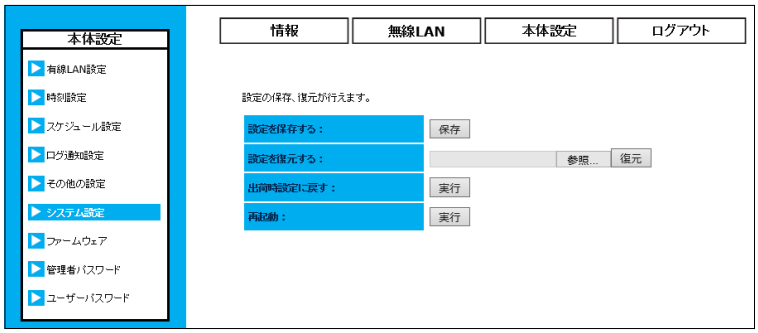
ログレベル	表示もしくは送信するログレベルを設定します。	
	標準	システムログのみ表示します。
	詳細	システムログ＋アクセスログを表示します。

●その他の設定



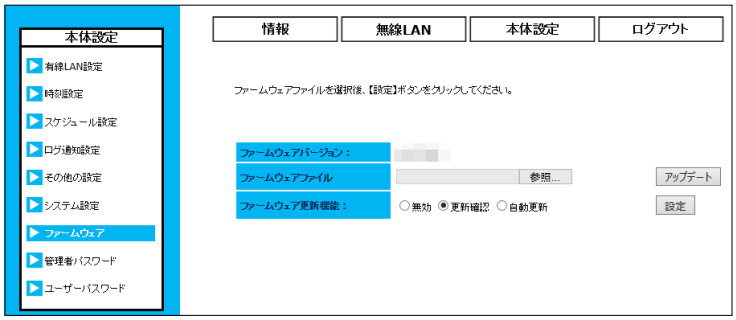
デバイス名	本製品の名前
5GH z と 2.4GHz のセパレート	5GHz 帯と 2.4GHz 帯を分けて使用したい場合、「有効」に設定します。（出荷時設定：無効）
最適ローミング（IEEE802.11k）	IEEE802.11k 対応の無線 LAN クライアントの場合、IEEE802.11k 対応の無線 LAN アクセスポイントから提供される無線 LAN の情報を利用して、接続先の空き状況を確認し最適な無線 LAN アクセスポイントへローミングする機能です。（出荷時設定：有効） ※本機能を使用する場合、無線 LAN クライアントも IEEE802.11k の対応が必要です。
無線 LAN ローミングアシスト	無線 LAN クライアントが他の本機能対応アクセスポイントへローミングするときに適切な移動をできるようにします。（出荷時設定：有効） ※接続先のアクセスポイントが全て本機能に対応している必要があります。 ※接続先のアクセスポイントが同一ネットワーク上にある必要があります。
無線 LAN ロードバランシング	[有効] にすると、利用可能な帯域内で無線 LAN クライアント同士の負荷を分散させます。（出荷時設定：有効）
無線 LAN バンドステアリング	[有効] にすると、デュアルバンド（2.4GHz 帯 /5GHz 帯）対応の無線 LAN クライアントには、自動的に 5GHz 帯への接続を誘導します。（出荷時設定：有効） ※ [有効] にした場合、5GHz 帯の SSID1 が 2.4GHz 帯の SSID1 と同じ値になり、5GHz 帯の SSID1 は設定がおこなえません。
無線 LAN 弱電波子機強制切断機能	受信感度が低い無線 LAN クライアントを切断する機能です。（出荷時設定：有効）
無線接続時は設定画面をひらかせない	[有効] にすると、無線 LAN クライアントから設定画面が開けないようになります。（出荷時設定：有効）
AirPort Quick Copy	AirPort Quick Copy 対応機種に設定情報をコピーする際に使用します。
AirPort Quick Copy HG	管理ツールを使用して、弊社製アクセスポイントを管理する際に使用します。
AirPort Easy Copy	AirPort Easy Copy 対応機種と有線 LAN 接続し、設定情報をコピーする際に使用します。
有線 LAN フローコントロール	有線 LAN の受信側のメモリ容量に対して許容量を越えないようデータフローを制御する、IEEE802.3x に準拠した機能です。（出荷時設定：有効）
有線 LAN EEE	有線 LAN がアイドル時に自動で消費電力を低減する IEEE802.3az 準拠の機能です。（出荷時設定：有効）
LED 消灯	[有効] にすると、本製品のランプが消灯します。

●システム設定



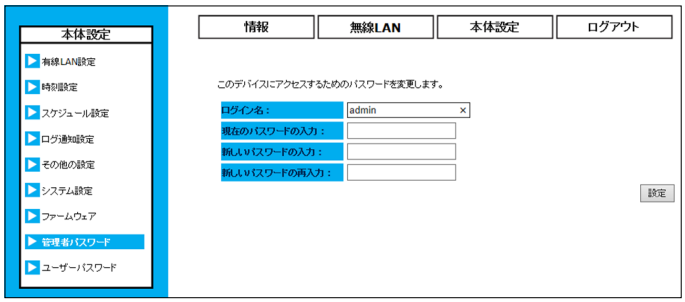
設定を保存する	本製品に設定された設定情報を書き出します。
設定を復元する	保存した設定情報を復元します。
出荷時設定に戻す	初期化します。
再起動	再起動をおこないます。

●ファームウェア



ファームウェアバージョン	本製品の現在のファームウェアのバージョンを表示します。	
ファームウェアファイル	［参照］ボタンをクリックして、更新するファームウェアファイルを選択します。 ［アップデート］を使用すると、ファームウェアの更新を開始します。	
ファームウェア更新機能	ファームウェアの更新方法を設定します。	
	無効	弊社ホームページでファームウェアの更新ファイルがあるかどうか確認し、更新がある場合は、手動でファームウェアの更新をおこないます。
	更新確認	ファームウェアの更新のお知らせを自動的に受け取り、更新内容を確認してからアップデートおこないます。（出荷時設定） ※更新の確認は月に３回、自動的におこなわれます。
	自動更新	ファームウェアの更新を自動的に確認し、更新がある場合は自動的にアップデートをおこないます。 ※更新の確認は月に３回、自動的におこなわれます。また更新の確認をおこなう日時を追加設定することもできます。（【スケジュールを作成する】27 ページ参照）

●管理者パスワード



ログイン名	現在設定されているログイン名が表示されます。 ※初期設定は「admin」です。
現在のパスワードの入力	現在設定されているパスワードを入力します。 ※初期設定パスワードは「IODATA」です。
新しいパスワードの入力	新しいパスワードを入力します。 ※半角英数字 16 文字以内で入力してください。 ※以下の記号も使用できます。 ！＃＄％＆＊＿－ ＝ ~ ( ) . ? [ ] { }
新しいパスワードの再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。

●ユーザーパスワード

一般ユーザを有効にする	［有効］にすると、一般ユーザーが本製品の設定画面にアクセスできるようにするためのログイン名とパスワードを設定することができます。 ※ログイン名に“root”、“admin”、“administrator”、“supervisor”、“toor”は設定できません。 ※一般ユーザーで設定画面にログインすると、「QR コネクト」と「設定ファイル」メニューのみ操作できます。
ログイン名	設定するログイン名を入力します。 ※半角英数字 16 文字以内で入力してください。 ※以下の記号も使用できます。 ！＃＄％＆＊＿－ ＝ ~ ( ) . ? [ ] { }
現在のパスワードの入力	すでに設定済みの場合、現在のパスワードを入力します。 ※半角英数字 16 文字以内で入力してください。 ※以下の記号も使用できます。 ！＃＄％＆＊＿－ ＝ ~ ( ) . ? [ ] { }
新しいパスワードの入力	新ししパスワードを入力します。 ※半角英数字 16 文字以内で入力してください。 ※以下の記号も使用できます。 ！＃＄％＆＊＿－ ＝ ~ ( ) . ? [ ] { }
新しいパスワードの再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。

困ったときには

アイ・オー・データホームページをご覧ください

http://www.iodata.jp/support/

製品型番などで検索してください。

サポートページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

設定時のトラブル

ランプが点灯しない	69 ページ
ランプの状態について知りたい	69 ページ
[Magical Finder] から本製品が見つからない	69 ページ
設定画面が表示されない	70 ページ
パスワードを入力しても、設定画面が起動しない	71 ページ
パスワードを忘れてしまった	71 ページ
Web ブラウザーで設定画面からログオンが正常に行えない、設定画面が表示されない	71 ページ
設定画面で文字が入力できない	71 ページ
パソコンを IP アドレスなどの自動取得（DHCP クライアント）として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない	72 ページ
LAN 側の IP アドレスを変更したら接続できなくなった	72 ページ
本製品の SSID や暗号キーの設定値を知りたい	72 ページ

無線 LAN 接続時のトラブル

SSID が検索されない	73 ページ
無線 LAN でインターネットに接続できない	73 ページ
暗号化を使用したら通信速度が低下した	73 ページ
他のアクセスポイントと無線通信できない	73 ページ
設定したのに無線通信できない	74 ページ
無線 LAN アダプター側のパソコンとの通信速度が遅い、不安定	74 ページ
2.4GHz 帯の 12ch や 13ch で無線通信ができない	74 ページ
無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる	75 ページ

その他

5GHz 帯の SSID1 の設定がおこなえない	76 ページ
本製品が起動するまでの時間はどのくらいですか	76 ページ
ルーター機能のないモデムと本製品をつなぎ、パソコンを無線 LAN 接続でインターネットできますか	76 ページ

IP アドレスの解放と更新方法

①コマンドプロンプトを起動します。

② IPCONFIG　-RELEASE　と入力し、[Enter] キーを押します。IP アドレスなどがすべて 0.0.0.0 になります。

※“IPCONFIG”と“-RELEASE”の間にはスペースが入ります。

③ IPCONFIG　-RENEW　と入力し、[Enter] キーを押します。IP アドレスを再取得します。

※“IPCONFIG”と“-RENEW”の間にはスペースが入ります。

④ IPCONFIG　-ALL　と入力し、[Enter] キーを押します。IP アドレスをご確認ください。

※“IPCONFIG”と“-ALL”の間にはスペースが入ります。

設定時のトラブル

ランプが点灯しない

対処	《[POWER] ランプが点灯しない場合》 付属の AC アダプターを取り付けてください。AC アダプターは必ず付属のものをご使用ください。

対処	《[LAN] ランプが点灯しない場合》 パソコンやハブの接続と電源が入っていることをご確認ください。

ランプの状態について知りたい

対処	【各部の名前】（44 ページ）をご覧ください。

[Magical Finder] から本製品が見つからない

原因	接続が正しくおこなわれていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[POWER] ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。(本製品上面の LAN ランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。 詳しくはセキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 **● Windows 10/8/7 のファイヤーウォール機能が有効となっている場合** 以下の手順で Magical Finder での通信を許可する設定をおこなってください。 ① [コントロールパネル] を開きます。 ②「システムとセキュリティ」を選択し、画面を開きます。 ③「Windows ファイヤーウォール」の [Windows ファイアウォールによるアプリケーションの許可] または [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] をクリックします。 ④ [設定の変更] をクリックします。 ⑤ [別のアプリの許可] ([別のプログラムの許可]) ボタンをクリックします。 ⑥ 一覧から「Magical Finder」を選択し、[追加] ボタンをクリックします。 ⑦「許可されたアプリおよび機能」(「許可されたプログラムおよび機能」) の一覧に「Magical Finder」(magicalfinder.exe) が追加されることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。 **● Windows Vista のファイヤーウォール機能が有効となっている場合** 以下の手順で Magical Finder での通信を許可する設定をおこなってください。 ① [スタート] - [コントロールパネル] - [セキュリティセンター] の順にクリックし、開きます。 ②「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。 ③ [例外] タブをクリックし、[プログラムの追加] ボタンをクリックします。 ④ 一覧から「Magical Finder」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。 ⑤「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。

対処	上記の対処をすべてお試しいただいても改善されない場合、設定パソコンを変更してお試しください。

設定画面が表示されない

原因	無線接続のパソコンから開こうとしている。
対処	ご購入時は、「無線接続時は設定画面をひらかせない」が有効になっています。 有線接続したパソコンから設定画面を開いてください。 ※「無線接続時は設定画面をひらかせない」は設定画面の［本体設定］→［その他の設定］にあります。

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（[POWER］ランプが点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。(本製品上面の LAN ランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

原因	本製品の IP アドレスと、接続しているネットワークの IP アドレスの体系が合っていない。
対処	次の方法で、本製品の IP アドレスを本製品が接続されているネットワークと通信できるものに合わせてください。 ①一時的に本製品と設定用パソコンは接続しないで、ネットワークに接続した状態のパソコンの IP アドレスを確認します。 設定前にメモした設定用パソコンの IP アドレス、サブネットマスクをご確認ください。 IP アドレスが [自動的に取得する] 設定になっている場合は、以下の手順で IP アドレスを確認してください。 1） コマンドプロンプトを起動します。 2） IPCONFIG と入力し、Enter キーを押します。 3） 表示される [IP Address] と [Subnet Mask] をメモしてください。 ②パソコンの IP アドレスを変更します。 設定用パソコンと本製品を LAN ケーブルで接続した状態で IP アドレス、サブネットマスクを変更してください。 ③ Magical Finder を起動して、本製品の［IP アドレス］ボタンをクリックします。 ④下記の設定例を参考に本製品の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。 <IP アドレス > 確認した IP アドレスが「192.168.1.xxx」(xxx は 1 ～ 254) の場合、本製品の IP アドレスは 192.168.1.203 などに設定します。 ※ xxx と 4 番目の数字 (上の例では 203) が重ならないように設定してください。また､左から3つの数字は同じ値に設定してください。 < サブネットマスク > 確認したサブネットマスクと同じ値に設定します。 ⑤設定用パソコンの IP アドレスを、メモした値に戻します。

原因	IP アドレスが正常に取得できていない。
対処	現在設定用パソコンで取得している IP アドレスをいったん解放し、再取得します。 (【IP アドレスの解放と更新方法】（68 ページ）参照)

原因	Web ブラウザーが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	Web ブラウザーがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 Web ブラウザーの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 < 設定例 >［Internet Explorer 6.0］の例 ①［Internet Explorer］画面の［ツール］メニューの［インターネット オプション］をクリックします。 ② [接続] タブをクリックし、[LAN の設定] ボタンをクリックします。 ③すべてのチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。 ④ [インターネット オプション](または [インターネットのオプション]) へ戻りますので、[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。 以上で設定は完了です。本製品の設定が完了したら、プロキシの設定を元に戻してください。 < 設定例 >［Mac OS X］の例 ① [アップルメニュー] → [場所] → [ネットワーク環境設定 ...] を選択します。 ② [プロキシ] タブをクリックし、[Web プロキシ] のチェックを外し、[今すぐ適用] ボタンをクリックします。 ③左上の (×) をクリックして画面を閉じます。 以上で設定は完了です。本製品の設定が完了したら、プロキシの設定を元に戻してください。

原因	Web ブラウザーがダイヤルアップする設定になっている。
対処	下記の手順にしたがってください。[Internet Explorer 6.0] を例にしています。 ① [Internet Explorer] 画面の [ツール] メニューの [インターネット オプション] をクリックします。 ② [接続] タブをクリックし、[ダイヤルしない] をチェックします。 以上で設定は完了です。

対処	上記の対処をすべてお試しいただいても改善されない場合は、以下の内容をお試しください。 ①設定するパソコンを変えてみる。 ②設定するパソコンの「TCP/IP」設定で IP アドレスを自動取得する設定を行っている場合は、IP アドレスを固定設定に変更してみる。

パスワードを入力しても、設定画面が起動しない

原因	パスワードが間違っている。
対処	正しいパスワードを入力してください。(初期値は、すべて半角大文字で”IODATA”です。大 / 小文字もご確認ください。) パスワードを忘れてしまった場合は、下の【パスワードを忘れてしまった】をご覧ください。

パスワードを忘れてしまった

対処	出荷時設定に戻してください。(【初期化する】(39 ページ)参照) パスワードは出荷時設定に戻ります。(すべて半角大文字で、IODATA) また、その他の設定も初期化されますので、再設定してください。

Web ブラウザーで設定画面からログオンが正常に行えない、設定画面が表示されない

対処	一部のセキュリティソフトウェアの中でブラウザーの動作をリアルタイムに確認をする機能を有している場合、一部の動作がセキュリティ上の問題と誤検知されている場合がございます。 ご利用時にセキュリティソフトウェアを停止するか、HTTP のセキュリティ監視機能を無効にしてご利用ください。 例)Kaspersky 社 Internet Security の場合、ウェブアンチウイルス機能を無効にしてください。

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字(半角英数字)かを確認してから入力してください。

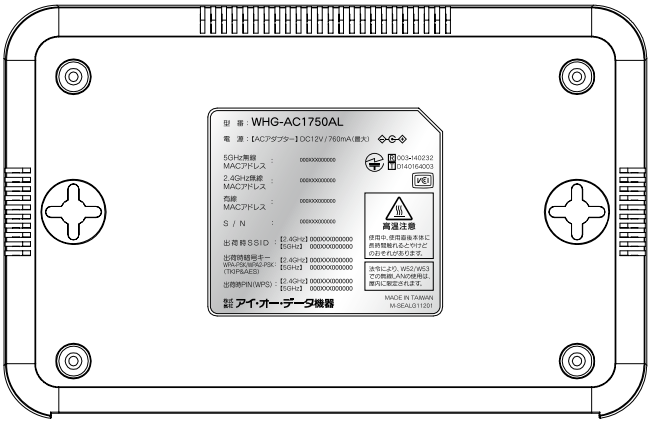
パソコンを IP アドレスなどの自動取得（DHCP クライアント）として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない

原因	ネットワークの設定に問題がある。
対処	本製品の [LAN] ランプが正しく点灯している場合は、以下の対処が考えられます。 ・アドレスの解放と更新をおこなう。（【IP アドレスの解放と更新方法】（68 ページ）参照） ・LAN アダプターのドライバーを最新のものへ更新する。 （ドライバーの更新方法については LAN アダプターのメーカーへお問い合わせください。） ・パソコンとの間にスイッチングハブがある場合は、スイッチングハブを初期化する。 （スイッチングハブの初期化方法についてはスイッチングハブのメーカーへお問い合わせください。） ・本製品を再起動する。（AC アダプターを抜き差ししてください。） ・セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 これらの方法でも DHCP クライアントとして IP アドレスなどを取得することができない場合は、固定（手入力）でネットワークの設定をおこなってください。なお、固定でネットワークの設定をおこなう場合は、ネットワークアドレスを合わせる必要があります。 初期値で運用する場合は、TCP/IP 設定に以下の値を使用します。 IP アドレス：192.168.0.2 ～ 192.168.0.254 で、他の機器と重複しない任意の IP アドレス サブネットマスク：255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ（ルーターアドレス）：192.168.0.1 DNS アドレス ：192.168.0.1

LAN 側の IP アドレスを変更したら接続できなくなった

対処	・パソコンに固定で IP アドレスを設定している場合 ①パソコンの IP アドレスには、新しく設定した（変更した）ルーターの LAN 側 IP アドレスと同じネットワーククラスの IP アドレスを設定してください。 ②パソコンのゲートウェイ（ルーターアドレス）と DNS アドレスには、新しく設定した（変更した）ルーターの LAN 側 IP アドレスを設定してください。 ・パソコンに IP アドレスを自動的に取得させている場合 パソコンの再起動、または、パソコンが自動的に取得しているアドレスの解放と書き換えをおこなってください。 （【IP アドレスの解放と更新方法】（68 ページ）参照）

本製品の SSID や暗号キーの設定値を知りたい

対処	本製品に貼付されている定格シールに記載されています。 

無線 LAN 接続時のトラブル

SSID が検索されない

原因	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、アクセスポイントの通信チャンネルを変更してから再度試してください。

原因	お使いの無線 LAN アダプターのドライバーが正しくインストールされていない。
対処	無線 LAN アダプターが正しく動作しているかどうかご確認ください。確認方法については、お使いの無線 LAN アダプターメーカーへお問い合わせください。

原因	(パソコン内蔵無線 LAN の場合) 内蔵無線 LAN 機能が無効になっている。
対処	パソコン本体のスイッチや設定ユーティリティーなどで、内蔵無線 LAN 機能が無効（OFF）になっている場合があります。スイッチや設定ユーティリティーで内蔵無線 LAN 機能を有効（ON）にしてから設定を行ってください。

無線 LAN でインターネットに接続できない

原因	本製品の無線 LAN 設定と、無線 LAN アダプターに設定した設定が合っていない。
対処	本製品で設定されている下記の設定内容と無線 LAN アダプターの設定内容とが一致していることをご確認ください。 ・SSID ・暗号化モード ・暗号キー

原因	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

原因	本製品の「MAC アドレスフィルター」の設定を有効にしている。
対処	接続できない無線 LAN クライアントの MAC アドレスを本製品に登録し、アクセスを許可する設定にしてください。 【MAC アドレスフィルターを利用する】（34 ページ）

暗号化を使用したら通信速度が低下した

対処	暗号化方式に WEP や WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（TKIP）を使用した場合に 11n/11ac では速度低下が発生することがあります。WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）を使用することをおすすめします。

他のアクセスポイントと無線通信できない

※モードについては、【動作モードについて】（26 ページ）をご覧ください。

原因	本製品同士を含むアクセスポイント同士の無線通信はできません。

原因	「11a」「11n（5GHz）」のチャンネルが合致していない。
対処	お使いの機器が、W52/W53（36ch/40ch/44ch/48ch/52ch/56ch/60ch/64ch）に対応したもの（ファームウェアのアップデート含む）または W56(100ch/104ch/108ch/112ch/116ch/120ch/124ch/128ch/132ch/136ch/140ch) に対応したものであることを確認してください。

設定したのに無線通信できない

原因	無線 LAN アダプター側パソコンの無線の設定が正しくない。
対処	無線 LAN アダプター側のモードがインフラストラクチャ（Infrastructure）になっていることと、SSID が本製品の値と同じになっていることを確認してください。

原因	暗号キーの設定があっていない。
対処	本製品と通信相手の無線 LAN 機器側の暗号キーの設定を同じ暗号キーにしてください。

原因	内蔵無線 LAN 搭載のパソコンで無線 LAN 接続を有効にするスイッチが無効になっている。
対処	ご使用のパソコンの無線 LAN スイッチがあるかどうかと、スイッチがある場合は有効になっているかをパソコンの取扱説明書などご覧の上、ご確認ください。

原因	MAC アドレスなどで接続制限されている LAN アダプターから通信している。
対処	設定している場合は、接続制限を解除してください。（【MAC アドレスフィルターを利用する】（34 ページ））

原因	パソコンの IP アドレスの設定が正しくない。
対処	パソコンの IP アドレスが自動取得 (DHCP) の場合は、DHCP サーバーの電源が入っていることを確認してから、パソコンの電源を入れてください。 パソコンの IP アドレスが固定の場合は、本製品の IP アドレスと同一クラスの IP アドレスを設定してください。

原因	電波の状態が悪い。
対処	無線 LAN 製品と本製品間の距離を短くしたり、障害物を取り除いて見通しをよくしたり、チャンネルを変更してみてください。

原因	「11a」「11n（5GHz）」のチャンネルが合致していない。
対処	お使いの機器が、W52/W53（36ch/40ch/44ch/48ch/52ch/56ch/60ch/64ch）に対応したもの（ファームウェアのアップデート含む）または W56(100ch/104ch/108ch/112ch/116ch/120ch/124ch/128ch/132ch/136ch/140ch) に対応したものであることを確認してください。

原因	接続しようとしている SSID の「SSID 通知」が［無効］になっており、無線 LAN クライアント側の接続設定が SSID 通知無効に対応していない
対処	【無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる】（75 ページ）をご覧ください。

無線 LAN アダプター側のパソコンとの通信速度が遅い、不安定

原因	電波の状態が悪い。
対処	無線 LAN アダプターと本製品間の距離を短くしたり、障害物を取り除いて見通しをよくしたり、チャンネルを変更してみてください。

原因	ノートパソコンで省電力機能が有効になっている。
対処	省電力機能の設定を無効にしてください。（詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。）

2.4GHz 帯の 12ch や 13ch で無線通信ができない

原因	ノートパソコン内蔵の無線 LAN では、12ch と 13ch が国際的に使用されないチャンネルである。
対処	ノートパソコン内蔵の無線 LAN では、12ch と 13ch が国際的に使用されないチャンネルのため、使用できない場合があります。2.4GHz での通信をおこなう場合は、1 ～ 11ch に設定してください。（設定方法は、使用する無線 LAN クライアントの取扱説明書参照）

無線に接続した後に切断すると、次から接続できなくなる

接続しようとしているSSIDの「SSID通知」が［無効］になっており、無線LANクライアント側の接続設定がSSID通知無効に対応していません。下のどちらかをお試しください。

方法	「SSID通知」を［有効］にする場合
対処	設定画面の［無線LAN］→［セキュリティ］で該当のSSIDの「SSID通知」を［有効］に設定します。この状態でも接続できない場合は、接続設定をやり直してください。

方法	「SSID通知」を［無効］にしたままで接続する場合
対処	OSに合わせて設定してください。

Windows 10/8の場合

［ネットワークと共有センター］→［新しい接続またはネットワークのセットアップ］で［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選び、該当のSSIDに接続してください。

その際、以下のチェックボックスにチェックを付けてください。

・この接続を自動的に開始します。

・ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する

※上記操作でも接続できない場合は、「無線LANプロファイル削除ツール」で無線LANプロファイル（接続設定）を削除して、もう一度設定からお試しください。

http://www.iodata.jp/r/4867

Windows 7/Vistaの場合

①［ネットワークと共有センター］→［ワイヤレスネットワークの管理］を開く

②該当の接続設定を右クリックし、［プロパティ］をクリック

③以下のチェックボックスにチェックを付けて設定する

Windows 7

・このネットワークが接続範囲内に入ると自動的に接続する

・ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する

Windows Vista

・この接続を自動的に開始します。

・ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する

Mac OS Xの場合

表示されているSSIDを選ぶのではなく、［ほかのネットワークに接続］などの手動入力で接続設定してください。

※SSIDを選んで接続した場合、SSID通知を無効にすると接続できなくなります。

iOSの場合

表示されているSSIDを選ぶのではなく、［その他］から手動入力で接続設定してください。

※SSIDを選んで接続した場合、SSID通知を無効にすると接続できなくなります。

※［設定］→［Wi-Fi］の「接続を確認」を［オン］にしておいてください。

Androidの場合

表示されているSSIDを選ぶのではなく、［ネットワークを追加］から手動入力で接続設定してください。

※SSIDを選んで接続した場合、SSID通知を無効にすると接続できなくなります。

その他

5GHz 帯の SSID1 の設定がおこなえない

対処	「無線 LAN バンドステアリング」機能を有効にしている場合（出荷時設定：有効）、5GHz 帯の SSID1 は 2.4GHz 帯の SSID1 と同じ設定になり、5GHz 帯の SSID1 の設定はおこなえません。（【●その他の設定】65 ページ参照）

本製品が起動するまでの時間はどのくらいですか

対処	本製品は電源を入れてから起動するまでに約 1 分程度かかります。

ルーター機能のないモデムと本製品をつなぎ、パソコンを無線 LAN 接続でインターネットできますか

対処	ルーター機能のないモデムの場合は、IP アドレスが 1 つしか割り当てられないため、モデムの下に本製品とさらにパソコンをつなぐ環境にすると正常にインターネットができない状態になることがあります。本製品とモデムの間にブロードバンドルーターを取り付けることをおすすめします。

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから５年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、５年以前に各対応を終了する場合があります。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（http://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- 【困ったときには】（68 ページ）を参照
- サポートページの Q&A を参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

http://www.iodata.jp/r/4785

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電 話：050-3116-3017

※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

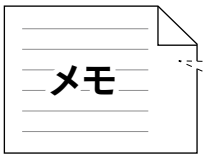
＜ご用意いただく情報＞

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

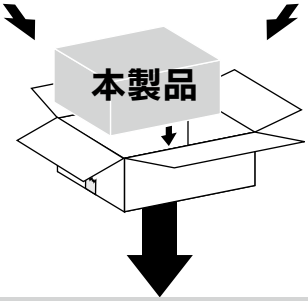
修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

保証書
または
レシート等の購入日を示すもの



- 氏名
- 住所
- 電話番号
- FAX 番号
- メールアドレス
- 症状

※メモの代わりにWeb掲載の
修理依頼書を印刷すると便利です。



梱包は厳重に!
弊社到着までに
破損した場合、有料修理と
なる場合があります。

宅配便で送付
紛失をさけるため宅配
便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

http://www.iodata.jp/support/after/

【IO カタログについて】
最新ニュースや電子カタログをスマホで見られる
「IO カタログ」アプリ！パソコンからも閲覧 OK。
無料ダウンロードはこちら。
http://catalog.iodata.jp/sp/

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【使用ソフトウェアについて】
本製品は、GNU General Public License Version2.June 1991 に基づいたソフトウェアが含まれています。
変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
・ 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。